

2021年5月14日

2021年3月期 決算説明会

説明者 取締役副社長CFO 宮崎純一

ディスクロージャー
2020年度 優良企業



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**
2021 JAPAN EXECUTIVE TEAM
MOST HONORED COMPANY
NISSAN CHEMICAL CORPORATION

会計方針の変更

1.方針の変更: 「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号)」を適用

2.適用時期: 2021年4月1日より

3.方針変更に伴うPL、BSへの主な影響:

(1) 代理人取引

(主たる適用セグメント) 化学品、農業化学品、卸売

(適用後) 売上総利益額見合の売上高のみ表示(適用前は売上高、売上原価を総額で表示)

(2021年度予想PLへの想定影響額) 売上高、売上原価がそれぞれ446億円(本体23億円、卸売423億円)減少
各セグメントの売上高には影響させず、「調整額」で控除

(2) 売上高を基礎としたロイヤリティ収入

(主たる適用セグメント) 農業化学品(動物薬ロイヤリティ収入)

(適用前)(2020年度まで) MSD社*1-6月売上高見合を8月、7-12月売上高見合を翌年2月、に計上

(適用後)(2021年度より) MSD社*1-3月売上高見合を5月、4-6月売上高見合を8月、7-9月売上高見合を11月、
10-12月売上高見合を翌年2月、に計上

(3) 変動対価(販売時点では変動する可能性のある売上値引など)

(主たる適用セグメント) 農業化学品

(適用後) 売上期間に応じて見積もり計上(適用前は金額確定時に計上)

適用前に比べ、値引額は1Q増加(マイナス影響)、2Q増加、上期増加、下期減少、年間なし、の傾向

(2021年度BSへの想定影響額)

2021年度期首利益剰余金(BS項目)が2020年度の遡及修正で21億円減少

(適用前)(2020年度) 2019農年(2019年10月-2020年9月)の売上見合い値引きのみ計上

(適用後)(2020年度) 上記に加え、2020年10月-2021年3月の売上見合い値引き21億円追加計上

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の
MSD Animal Health 社の略称

決算ハイライト

1. 2020年度下期 実績

(1) 前年同期比

- ◆ 営業利益は、前年同期206億円に対し、245億円と39億円の増益（前年同期比+19%）
機能性材料・化学品・農業化学品が増益となった（医薬品は横ばい）
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益（以下、純利益）は、前年同期163億円に対し、196億円と33億円の増益（前年同期比+20%）

(2) 業績予想（2020年11月発表）比

- ◆ 営業利益は、業績予想223億円に対し、245億円と22億円の**上ぶれ**
化学品、機能性材料が大きく**上ぶれ**、農業化学品・医薬品の**下ぶれ**をカバーした
- ◆ 純利益は、業績予想175億円に対し196億円と、21億円の**上ぶれ**

2. 2020年度 実績

(1) 前年比

- ◆ 営業利益は、前年386億円に対し、425億円と39億円の増益（前年同期比+10%）
機能性材料・化学品の増益が、農業化学品・医薬品の減益を大きく上回った
- ◆ 純利益は、前年308億円に対し、335億円と27億円の増益（前年同期比+9%）
- ◆ **その結果、コロナ禍にかかわらず営業利益・経常利益は7年連続、純利益は8年連続で過去最高益を更新した**
- ◆ ROEは17.5%となり、前年実績16.9%、2020年11月発表予想値16.6%を上回った（中計目標値16%以上）

決算ハイライト

2. 2020年度 実績

(2) 株主還元

- ◆ 配当は、年間104円(中間46円、期末58円)とし、前年90円(中間42円、期末48円)に対し、14円増配、2020年11月発表予想の98円に対し、6円上ぶれとなった
- ◆ **その結果、配当は、9年連続増配を達成**
- ◆ 配当性向は、前年実績42.8%に対し、44.9%となり、2020年度中計目標値45%を達成
- ◆ 自己株式取得は、前年実績100億円に対し、100億円と同額
- ◆ 配当と自己株式を合計した総還元性向は、前年実績75.1%に対し、74.6%となり、2020年度中計目標値75%を達成

3. 2021予想

(1) 前年比

- ◆ 営業利益は、前年425億円に対し、436億円と11億円の増益(前年比+3%)
化学品・機能性材料の増益が、農業化学品・医薬品の減益を上回る
- ◆ 純利益は、前年335億円に対し、341億円と6億円の増益(前年比+2%)
- ◆ ROE予想は17.0%で、前年実績17.5%を下回るが、中計目標値16%以上を上回る

(2) 株主還元

- ◆ 配当は、年間108円(中間48円、期末60円)とし、前年104円(中間46円、期末58円)に対し、4円増配
- ◆ **その結果、配当は、10年連続増配の見込み**
- ◆ 配当性向は、前年実績44.9%に対し、45.2%となり、2021年度中計目標値45%を達成
- ◆ 自己株式取得は、2021年5月14日に上限70億円の取得開始を発表
- ◆ 配当108円と自己株式70億円を合計した総還元性向は、65.7%となる(2021年度中計目標値75%)

(3) 中計比

- ◆ 営業利益は、中計目標430億円に対し、436億円と6億円の上ぶれで、コロナ禍にもかかわらず目標達成の予想
機能性材料が上ぶれ、化学品・農業化学品・医薬品が下ぶれ
- ◆ 純利益は、中計目標330億円に対し、341億円と11億円上ぶれで、目標達成の予想

2020実績

(億円)

	2019実績			2020実績			増減			増減率	2020予想 (2020/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	上実績	下	計
売上高	965	1,103	2,068	945	1,146	過去最高 2,091	-20	+43	+23	+1%	945	1,150	2,095
営業利益	180	206	386	180	245	過去最高 425	0	+39	+39	+10%	180	223	403
営業外損益	6	8	14	2	12	14	-4	+4	0	-	2	6	8
経常利益	186	214	400	182	257	過去最高 439	-4	+43	+39	+10%	182	229	411
特別損益	9	1	10	11	5	16	+2	+4	+6	-	11	5	16
純利益 (1)	145	163	308	139	196	過去最高 335	-6	+33	+27	+9%	139	175	314
EBITDA (2)	227	265	492	228	302	530	+1	+37	+38	+8%	228	279	507
EPS (円/株)	98.75	111.34	210.09	95.96	135.77	231.73	-2.79	+24.43	+21.64	+10%	95.96	121.60	217.56
配当 (円/株)	42	48	90	46	58	104	+4	+10	+14		46	52	98
配当総額	62	69	131	66	84	150	+4	+15	+19		66	75	141
売上高営業利益率	18.7%	18.7%	18.7%	19.0%	21.4%	20.3%	+0.3%	+2.7%	+1.6%		19.0%	19.4%	19.2%
ROE	-	-	16.9%	-	-	17.5%	-	-	+0.6%		-	-	16.6%
為替レート (円/ドル)	109	109	109	107	105	106					107	105	
原油(JCC)(ドル/bbl) (3)	69	67	68	36	50	43					36	44	

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 財務省貿易統計ベース

2020下実績

<前年同期比>

(売上高)	◆増収	+43 億円	(+4%)	(増収) 機能性材料、農業化学品、医薬、卸売 (減収) 化学
(営業利益)	◆増益	+39 億円	(+19%)	(増益) 化学、機能性材料、農業化学品、卸売 (横ばい) 医薬
(経常利益)	◆増益	+43 億円	(+20%)	
(純利益)	◆増益	+33 億円	(+20%)	
(EPS)	◆増加	+24.43円	(+22%)	

<2020/11業績予想比>

(売上高)	◆下ぶれ	-4 億円		(上ぶれ) 化学、機能性材料、卸売 (下ぶれ) 農業化学品、医薬
(営業利益)	◆上ぶれ	+22 億円		(上ぶれ) 化学、機能性材料、卸売 (下ぶれ) 農業化学品、医薬
(経常利益)	◆上ぶれ	+28 億円		
(純利益)	◆上ぶれ	+21 億円		
(EPS)	◆上ぶれ	+14.17円		

2020実績

<前年比>

(売上高)	◆増収	+ 23 億円	(+1%)	(増収)	機能性材料、卸売
				(減収)	化学、農業化学品、医薬
(営業利益)	◆増益	+ 39 億円	(+10%)	(増益)	化学、機能性材料、卸売
				(減益)	農業化学品、医薬

◆売上高営業利益率 20.3%

2003年より18年連続10%以上維持

(経常利益) ◆増益 + 39 億円 (+10%)

(特別損益) ◆増益 + 6 億円 2020年間(特別損益) +16億円(有価証券売却益16億円・売却額31億円、15銘柄(うち11銘柄保有全株数売却))

2019年間(特別損益) +10億円

(純利益) ◆増益 + 27 億円 (+9%)

(EPS) ◆増加 + 21.64 円 (+10%)

(ROE) ◆17.5% (2019年16.9%)

営業利益・経常利益は7年連続、純利益は8年連続 過去最高益を更新

<株主還元>

(配当) ◆中間46円、期末58円、計104円、配当性向44.9% 9年連続増配を達成
前年比: 14円増配、配当性向+2.1%、2020/11業績予想比: 6円増額

(自己株式取得) ◆100億円、1.8百万株取得(2019年度100億円、2.1百万株)

(自己株式消却) ◆1百万株消却(2020年8月)

(総還元性向) ◆74.6%(中計目標 75%を達成)

2020下実績

(億円)

	2019実績			2020実績			増減			2020予想 (2020/11発表)		
	3Q	4Q	下	3Q	4Q	下	3Q	4Q	下	3Q	4Q	下
売上高	415	688	1,103	437	709	1,146	+22	+21	+43	447	703	1,150
営業利益(1)	35	171	206	56	189	245	+21	+18	+39	42	181	223
営業外損益	5	3	8	2	10	12	-3	+7	+4	5	1	6
経常利益(1)	40	174	214	58	199	257	+18	+25	+43	47	182	229
特別損益	0	1	1	0	5	5	0	+4	+4	0	5	5
純利益(1)(2)	31	132	163	45	151	196	+14	+19	+33	37	138	175
EBITDA(3)	63	202	265	83	219	302	+20	+17	+37	-	-	279
EPS(円/株)(1)	21.18	90.16	111.34	30.97	104.80	135.77	+9.79	+14.64	+24.43	-	-	121.60
配当(円/株)	-	-	48	-	-	58	-	-	+10	-	-	52
配当総額	-	-	69	-	-	84	-	-	+15	-	-	75
売上高営業利益率(1)	8.4%	24.9%	18.7%	12.8%	26.8%	21.4%	+4.4%	+1.9%	+2.7%	9.4%	25.7%	19.4%

(1) 2019実績: 当時、償却期間5年で仮計算していた殺菌剤クインテック(キノキシフェン)事業の償却費を、会計監査後の確定値8.4年(加重平均)償却に修正。

これにより2019年3Q実績を、当時の公表値から営業利益、経常利益を+0.8億円、純利益を+0.6億円修正。

セグメント別営業利益では調整額に反映。2019年3Qと4Qの内訳のみ修正、2019年下期および通期の値には影響なし。

(2) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(3) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2020 3Q実績

<前年同期比>

(売上高) ◆増収	+22 億円	(+5%)	(増収) 機能性材料、農業化学品、卸売 (減収) 化学、医薬
(営業利益) ◆増益	+21 億円	(+60%)	(増益) 化学、機能性材料、農業化学品、卸売 (減益) 医薬
(経常利益) ◆増益	+18 億円	(+48%)	
(純利益) ◆増益	+14 億円	(+45%)	
(EPS) ◆増加	+9.79円	(+46%)	

<2020/11業績予想比>

(売上高) ◆下ぶれ	-10 億円	(上ぶれ) 化学、機能性材料 (下ぶれ) 農業化学品、医薬、卸売
(営業利益) ◆上ぶれ	+14 億円	(上ぶれ) 機能性材料、卸売 (予想通り) 化学 (下ぶれ) 農業化学品、医薬
(経常利益) ◆上ぶれ	+11 億円	
(純利益) ◆上ぶれ	+8 億円	

2020 4Q実績

<前年同期比>

(売上高) ◆増収	+21 億円	(+3%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学品、医薬、卸売
(営業利益) ◆増益	+18 億円	(+11%)	(増益) 化学、機能性材料、医薬、卸売 (横ばい) 農業化学品
(経常利益) ◆増益	+25 億円	(+14%)	
(純利益) ◆増益	+19 億円	(+15%)	
(EPS) ◆増加	+14.64円	(+16%)	

<2020/11業績予想比>

(売上高) ◆上ぶれ	+6 億円		(上ぶれ) 機能性材料、農業化学品、医薬、卸売 (予想通り) 化学
(営業利益) ◆上ぶれ	+8 億円		(上ぶれ) 化学、機能性材料、農業化学品、卸売 (下ぶれ) 医薬
(経常利益) ◆上ぶれ	+17 億円		
(純利益) ◆上ぶれ	+13 億円		

2020実績、2021予想 営業外損益・特別損益

(億円)

	2019実績	2020予想 (2020/11発表)	2020実績	2021予想
営業外収益	26.1	24.2	27.9	26.7
受取利息・配当金	8.2	7.7	10.0	6.5
持分法投資損益 他	17.9	16.5	17.9	20.2
営業外費用	12.6	16.1	14.3	13.3
支払利息	1.2	0.9	0.7	0.8
固定資産処分損 他	11.4	15.2	13.6	12.5
特別利益(投資有価証券売却益)	18.3	16.0	15.9	16.0
特別損失	8.3	0.0	0.0	0.0

2020実績、2021予想 キャッシュフロー

(億円)

	2019実績	2020予想 (2020/11発表)	2020実績	2021予想
営業キャッシュ・フロー	355	350	399	407
税金等調整前純利益	410	427	455	458
投資有価証券売却損益(－は益)	-18	-16	-16	-16
減価償却費(1)	105	104	104	111
法人税等の支払	-84	-114	-111	-123
運転資金増減他	-58	-51	-33	-23
投資キャッシュ・フロー	-156	-94	-128	-181
設備投資	-89	-99	-82	-161
投資有価証券購入・売却	25	21	29	19
その他(2)	-92	-16	-75	-39
財務キャッシュ・フロー	-252	-251	-256	-274
株主還元(配当)	-124	-231	-136	-257
株主還元(自己株取得)	-100		-100	
借入金増減額	-19	-20	-20	-17
その他(3)	-9	0	0	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	-3	0	3	0
現金及び現金同等物の増減額	-56	5	18	-48
現金及び現金同等物の残高	306	311	324	276

(1) のれん償却費を含む

(2) 2019実績：殺菌剤クインテック事業買収-63、他-29、2020実績：殺菌剤ダイセン事業買収-54、他-21

(3) 2019実績：業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得-8、他-1

2020 貸借対照表

(億円)

	2020/3	2021/3	増減
流動資産	1,542	1,596	+54
現金預金	306	324	+18
売上債権	725	739	+14
たな卸資産	439	467	+28
その他	72	66	-6
固定資産	953	1,059	+106
有形固定資産	516	518	+2
無形固定資産	74	121	+47
投資有価証券*	309	359	+50
その他	54	61	+7
資産合計	2,495	2,655	+160

*投資有価証券内訳

上場株式 (1)	207	244	+37
非上場株式	26	27	+1
関係会社株式	76	88	+12
合計	309	359	+50

	2020/3	2021/3	増減
負債	640	649	+9
買入債務	169	163	-6
借入金	246	227	-19
その他	225	259	+34
純資産	1,855	2,006	+151
株主資本	1,771	1,869	+98
その他有価証券 評価差額金	78	114	+36
為替換算 調整勘定	-9	1	+10
非支配株主持分	16	17	+1
退職給付に係る 調整累計額	-1	5	+6
負債・純資産合計	2,495	2,655	+160

自己資本比率 73.7% 74.9%

D/Eレシオ (2) -3.4% -5.2%

株主資本等増減 +98 = 純利益335 - 配当その他237

(1) 20/3末 207 +取得0 -売却15 +評価差額52 =21/3末 244

(2) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

2021予想⁽¹⁾

(億円)

	2020実績					2021予想					増減					増減率	
	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	計	
売上高	493	452	945	1,146	2,091	400	365	765	960	1,725	-93	-87	-180	-186	-366	-18%	
営業利益	98	82	180	245	425	98	79	177	259	過去最高 436	0	-3	-3	+14	+11	+3%	
営業外損益	6	-4	2	12	14	4	-1	3	10	13	-2	+3	+1	-2	-1	-	
経常利益	104	78	182	257	439	102	78	180	269	過去最高 449	-2	0	-2	+12	+10	+2%	
特別損益(2)	0	11	11	5	16	0	10	10	6	16	0	-1	-1	+1	0	-	
純利益(3)	76	63	139	196	335	75	65	140	201	過去最高 341	-1	+2	+1	+5	+6	+2%	
EBITDA(4)	121	107	228	302	530	-	-	227	320	547	-	-	-1	+18	+17	+3%	
EPS(円/株)	52.38	43.58	95.96	135.77	231.73	-	-	98.03	141.15	239.18	-	-	+2.07	+5.38	+7.45	+3%	
配当(円/株)	-	-	46	58	104	-	-	48	60	108	-	-	+2	+2	+4		
配当総額	-	-	66	84	150	-	-	68	86	154	-	-	+2	+2	+4		
売上高営業利益率	19.9%	18.1%	19.0%	21.4%	20.3%	24.5%	21.6%	23.1%	27.0%	25.3%	+4.6%	+3.5%	+4.1%	+5.6%	+5.0%		
ROE	-	-	-	-	17.5%	-	-	-	-	17.0%						-0.5%	
為替レート(円/ドル)	108	106	107	105	106	107	107	107	107	107							
原油(JCC)(ドル/bbl)(5)	31	41	36	50	43	55	55	55	55	55							

(1) 2021予想:会計方針の変更による主たる影響(p2参照):

①代理人取引影響 上期-206億円、下期-240億円、計-446億円(上記売上高に反映済、セグメント情報では調整額に反映)
 売上値引影響 上期-10億円、下期+10億円、計0億円(上記売上高に反映済、セグメント情報では農薬売上高に反映)
 合計 上期-216億円、下期-230億円、計-446億円

②営業利益・経常利益 上期-10億円、下期+10億円、計0億円(農薬)

③当期純利益 上期-7億円、下期+7億円、計0億円

(2) 2021予想:投資有価証券売却益16億円

(3) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(4) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(5) 実績は財務省貿易統計ベース

2021予想

<前年比>

(売上高) ◆減収 - 366 億円 (-18%)
(会計方針の変更による売上高減少 p2参照)

(増収) 化学、機能性材料、農業化学品、卸売
(減収) 医薬

(営業利益) ◆増益 + 11 億円 (+3%)

(増益) 化学、機能性材料
(減益) 農業化学品、医薬、卸売

(経常利益) ◆増益 + 10 億円 (+2%)

(純利益) ◆増益 + 6 億円 (+2%)

(EPS) ◆増加 + 7.45円 (+3%)

(ROE) ◆17.0% (2020年17.5%)

営業利益・経常利益は8年連続、純利益は9年連続で過去最高益を更新

<株主還元>

(配当) ◆中間48円、期末60円、計108円、配当性向45.2% 10年連続増配の見込み
前年比: 4円増配、配当性向+0.3%(中計目標45%)

(自己株式取得) ◆2021年5月14日発表分 70億円(2020年度100億円、1.8百万株)

(自己株式消却) ◆1百万株(2021年5月)

(総還元性向目標) ◆75%(配当108円、自己株式取得70億円に基づけば65.7%)

2021 1Q予想・2021上予想

<1Q前年比>

(売上高) (p2参照)	◆減収	-93 億円	(-19%)	(増収) 化学、機能性材料 (減収) 農業化学、医薬、卸売
(営業利益)	◆横ばい	0 億円	(0%)	(増益) 化学、機能性材料 (減益) 農業化学、医薬、卸売
(経常利益)	◆減益	-2 億円	(-2%)	
(純利益)	◆減益	-1 億円	(-1%)	

<上期前年比>

(売上高) (p2参照)	◆減収	-180 億円	(-19%)	(増収) 化学、機能性材料 (減収) 農業化学、医薬、卸売
(営業利益)	◆減益	-3 億円	(-2%)	(増益) 化学、機能性材料、医薬 (減益) 農業化学品、卸売
(経常利益)	◆減益	-2 億円	(-1%)	
(純利益)	◆増益	+1 億円	(+1%)	

2020実績 セグメント別売上高⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2019実績					2020実績					増減					2020予想 (2020/11発表)				
	上	3Q	4Q	下	計	上	3Q	4Q	下	計	上	3Q	4Q	下	計	上実	3Q	4Q	下	計
化学	168	87	88	175	343	147	83	89	172	319	-21	-4	+1	-3	-24	147	81	89	170	317
ファイ	52	26	27	53	105	54	28	32	60	114	+2	+2	+5	+7	+9	54	29	35	64	118
基礎	116	61	61	122	238	93	55	57	112	205	-23	-6	-4	-10	-33	93	52	54	106	199
機能性	314	170	171	341	655	346	192	178	370	716	+32	+22	+7	+29	+61	346	175	177	352	698
農化	279	55	306	361	640	257	63	318	381	638	-22	+8	+12	+20	-2	257	82	307	389	646
医薬	34	16	20	36	70	30	14	23	37	67	-4	-2	+3	+1	-3	30	16	22	38	68
創薬	21	9	10	19	41	15	6	8	14	29	-6	-3	-2	-6	-12	15	6	9	15	30
FT	13	6	10	16	29	15	8	15	23	38	+2	+2	+5	+7	+9	15	10	13	23	38
卸売	333	175	171	346	679	337	178	183	361	698	+4	+3	+12	+15	+19	337	179	175	354	691
その他	98	51	75	126	224	94	68	76	144	238	-4	+17	+1	+18	+14	94	64	76	140	234
調整額	-261	-139	-143	-282	-543	-266	-161	-158	-319	-585	-5	-22	-15	-37	-42	-266	-150	-143	-293	-559
合計	965	415	688	1,103	2,068	945	437	709	1,146	2,091	-20	+22	+21	+43	+23	945	447	703	1,150	2,095

(1) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキソコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2020実績 セグメント別営業利益(1)(2)(3)(4)

(億円)

	2019実績					2020実績					増減					2020予想 (2020/11発表)				
	上	3Q	4Q	下	計	上	3Q	4Q	下	計	上	3Q	4Q	下	計	上実	3Q	4Q	下	計
化学	3	5	5	10	13	-1	7	9	16	15	-4	+2	+4	+6	+2	-1	7	6	13	12
機能性	84	47	39	86	170	107	63	54	117	224	+23	+16	+15	+31	+54	107	49	50	99	206
農化	94	-18	117	99	193	78	-13	117	104	182	-16	+5	0	+5	-11	78	-7	116	109	187
医薬	5	1	3	4	9	0	0	4	4	4	-5	-1	+1	0	-5	0	1	5	6	6
創薬	0	-2	0	-2	-1	-4	-4	-2	-6	-9	-4	-2	-2	-4	-8	-4	-4	-1	-5	-9
FT	5	2	4	6	11	4	3	6	9	13	-1	+1	+2	+3	+2	4	4	6	10	14
卸売	10	6	5	11	21	12	7	6	13	25	+2	+1	+1	+2	+4	12	5	4	9	21
その他	1	1	5	6	7	0	4	4	8	8	-1	+3	-1	+2	+1	0	1	5	6	6
調整額	-17	-7	-3	-10	-27	-16	-12	-5	-17	-33	+1	-5	-2	-7	-6	-16	-14	-5	-19	-35
合計	180	35	171	206	386	180	56	189	245	425	0	+21	+18	+39	+39	180	42	181	223	403

(1) 2019-20年度：新方式セグメント別営業利益

1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)

2. 2019年度は遡及して再計算

3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキソコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

(4) 2019年3Q、4Q調整額:クインテック償却費修正(p8参照)

2021予想 セグメント別売上高⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2020実績					2021予想					増減				
	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	74	73	147	172	319	84	83	167	179	346	+10	+10	+20	+7	+27
ファイン	27	27	54	60	114	32	31	63	66	129	+5	+4	+9	+6	+15
基礎	47	46	93	112	205	52	52	104	113	217	+5	+6	+11	+1	+12
機能性	171	175	346	370	716	186	186	372	386	758	+15	+11	+26	+16	+42
農業化学	146	111	257	381	638	145	103	248	414	662	-1	-8	-9	+33	+24
医薬	15	15	30	37	67	9	20	29	32	61	-6	+5	-1	-5	-6
創薬	7	8	15	14	29	5	5	10	11	21	-3	-3	-5	-2	-7
FT	8	7	15	23	38	4	15	19	20	39	-4	+8	+4	-3	+2
卸売	182	155	337	361	698	165	170	335	366	701	-17	+15	-2	+5	+3
その他	48	46	94	144	238	49	54	103	131	234	+1	+8	+9	-13	-4
調整額	-143	-123	-266	-319	-585	-240	-249	-489	-548	-1,037	-97	-126	-223	-229	-452
合計	493	452	945	1,146	2,091	398	367	765	960	1,725	-95	-85	-180	-186	-366

(1) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 2021予想: 会計方針の変更による売上高減少を含む(p2, 14参照)

(3) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

2021予想 セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾

(億円)

	2020実績					2021予想					増減				
	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
化学	7	-8	-1	16	15	13	-3	10	14	24	+6	+5	+11	-2	+9
機能性	53	54	107	117	224	55	61	116	122	238	+2	+7	+9	+5	+14
農業化学	40	38	78	104	182	38	20	58	118	176	-2	-18	-20	+14	-6
医薬	-1	1	0	4	4	-3	5	2	1	3	-2	+4	+2	-3	-1
創薬	-2	-1	-4	-6	-9	-4	-3	-7	-8	-15	-2	-2	-4	-2	-6
FT	2	2	4	9	13	1	8	9	9	18	-1	+6	+5	0	+5
卸売	7	5	12	13	25	5	6	11	11	22	-2	+1	-1	-2	-3
その他	0	0	0	8	8	0	0	0	7	7	0	0	0	-1	-1
調整額	-8	-8	-16	-17	-33	-10	-10	-20	-14	-34	-2	-2	-4	+3	-1
合計	98	82	180	245	425	98	79	177	259	436	0	-3	-3	+14	+11

(1) 2021予想:会計方針の変更影響を含む(p2、14参照)

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

将来の成長エンジン – 2020年度売上高予想(2020/5発表)

2020年度予想
売上高規模(1)

(1)サンプル出荷に伴う試験費控除も含む

	3億円未満	3億円以上6億円未満	6億円以上	合計	
化学品	<ul style="list-style-type: none"> テピック新製品(液状) (ファインケミカル) ビーナス®オイルクリーン (ファインケミカル) 			0億円	
機能性材料	<ul style="list-style-type: none"> フレキシブルHC材料 (ディスプレイ) ホール注入材 (ディスプレイ) 位相差フィルム用配向材 (ディスプレイ) 三次元実装材料 (半導体) 新規高屈(IM用フィルム) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> 調光フィルム材料 (ディスプレイ) 撥液バンク材料 (ディスプレイ) TV向け配向材 (ディスプレイ) オルガノゾル(絶縁CTE) (無機) モノマーゾル (3Dプリンティング) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> CMOSイメージセンサー材料 (半導体) オイル&ガス材料 (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> EUV材料 (半導体) 	31億円
農業化学品	<ul style="list-style-type: none"> ネクスター (導入剤) クラール (自社開発) アレイル (自社開発) 	<ul style="list-style-type: none"> トランスフォーム™/エクシード™ /ピレスコ™ (導入剤) 	<ul style="list-style-type: none"> グレーシア (自社開発) ラウンドアップAL II/III (自社開発) クインテック (買収剤) 	91億円	
医薬品 ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 新規ジェネリック (ファインテック) 細胞培養材料 		<ul style="list-style-type: none"> エルデカルシトール (ファインテック) 	12億円	

合計 134億円

将来の成長エンジン – 2020年度売上高実績

2020年度実績
売上高規模(1)

(1)サンプル出荷に伴う試験費控除も含む

	3億円未満	3億円以上6億円未満	6億円以上	合計	
化学品	<ul style="list-style-type: none"> テピック新製品(液状) (ファインケミカル) ビーナス®オイルクリーン (ファインケミカル) 			0億円	
機能性材料	<ul style="list-style-type: none"> フレキシブルHC材料 (ディスプレイ) ホール注入材 (ディスプレイ) 位相差フィルム用配向材 (ディスプレイ) 三次元実装材料 (半導体) 新規高屈(IM用フィルム) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> 調光フィルム材料 (ディスプレイ) 撥液バンク材料 (ディスプレイ) TV向け配向材 (ディスプレイ) オルガノゾル(絶縁CTE) (無機) モノマーゾル (3Dプリンティング) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> CMOSイメージセンサー材料 (半導体) オイル&ガス材料 (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> EUV材料 (半導体) 	25億円
農業化学品	<ul style="list-style-type: none"> ネクスター (導入剤) クラール (自社開発) アレイル (自社開発) トランスフォーム™/エクシード™ /ピレスコ™ (導入剤) 		<ul style="list-style-type: none"> グレーシア (自社開発) ラウンドアップAL II/III (自社開発) クインテック (買収剤) ダイセン (買収剤) 	78億円	
医薬品 ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 新規ジェネリック (ファインテック) 細胞培養材料 		<ul style="list-style-type: none"> エルデカルシトール (ファインテック) 	13億円	

合計 116億円

将来の成長エンジン – 2021年度売上高予想

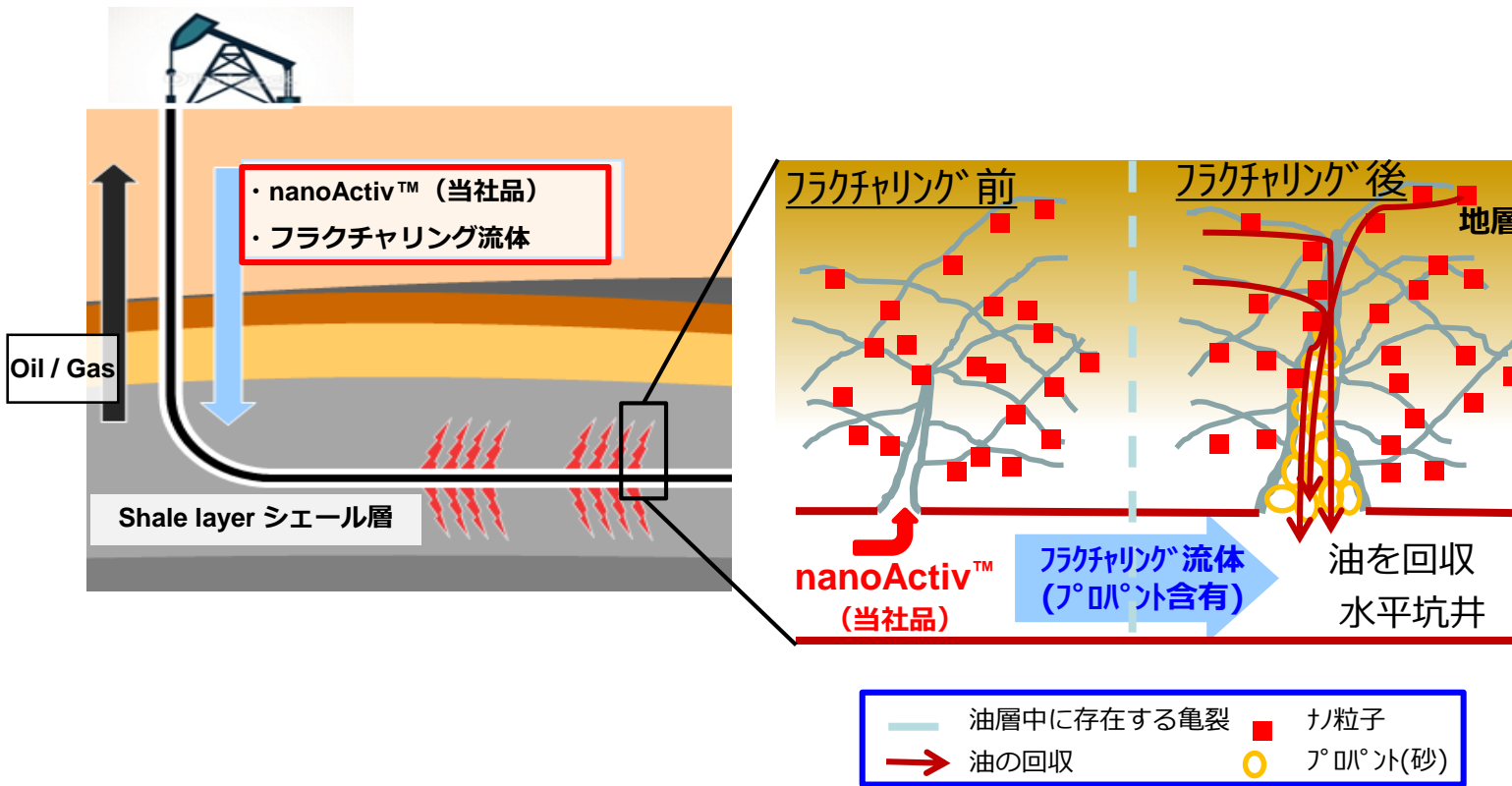
2021年度予想
売上高規模(1)

(1)サンプル出荷に伴う試験費控除も含む

	3億円未満	3億円以上6億円未満	6億円以上	合計	
化学品	<ul style="list-style-type: none"> テピック新製品(液状) (ファインケミカル) ビーナス®オイルクリーン (ファインケミカル) 			0億円	
機能性材料	<ul style="list-style-type: none"> フレキシブルHC材料 (ディスプレイ) ホール注入材 (ディスプレイ) 位相差フィルム用配向材 (ディスプレイ) 三次元実装材料 (半導体) 新規高屈(IM用フィルム) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> 調光フィルム材料 (ディスプレイ) 撥液バンク材料 (ディスプレイ) TV向け配向材 (ディスプレイ) オルガノゾル(絶縁CTE) (無機) モノマーゾル (3Dプリンティング) (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> CMOSイメージセンサー材料 (半導体) オイル&ガス材料 (無機) 	<ul style="list-style-type: none"> EUV材料 (半導体) 	33億円
農業化学品	<ul style="list-style-type: none"> ネクスター (導入剤) クラール (自社開発) アレイル (自社開発) トランスフォーム™/エクシード™ /ビレスコ™ (導入剤) 		<ul style="list-style-type: none"> グレーシア (自社開発) ラウンドアップAL II/III (自社開発) クインテック (買収剤) ダイセン (買収剤) 	113億円	
医薬品 ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 新規ジェネリック (ファインテック) 細胞培養材料 		<ul style="list-style-type: none"> エルデカルシトール (ファインテック) 	12億円	

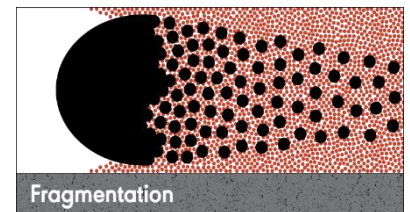
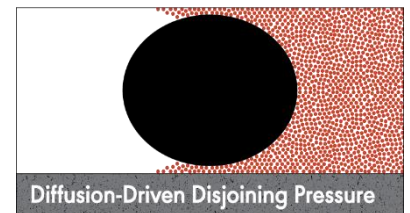
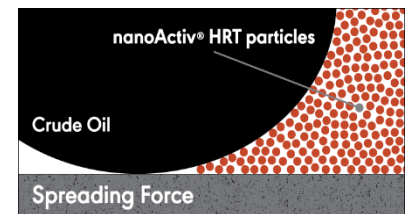
合計 **158億円**

オイル&ガス材料



Brownian Motion/Diffusion
⇒ Spreading Force

Wasan & Nikolov, *Nature*, Vol. 423, 2003.

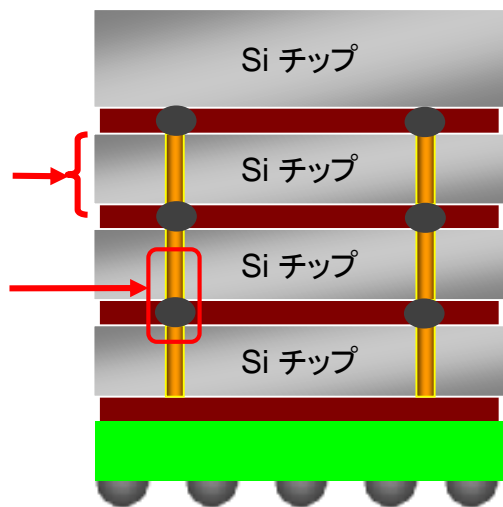


三次元実装材料

TSV加工の課題

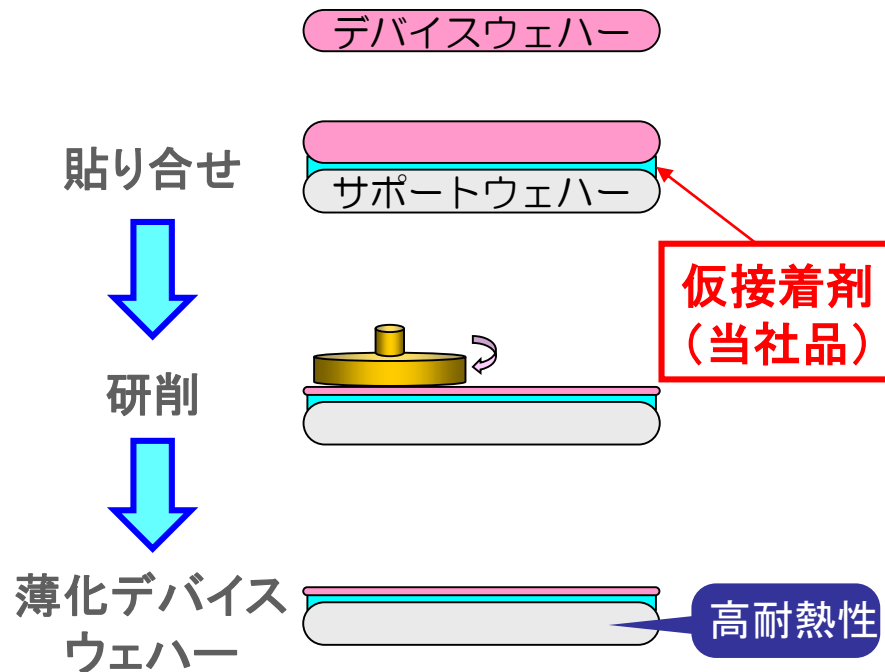
- 基板の薄化 (< 50um)

- TSV形成に高温プロセス



高温プロセスに対応した
薄化ウェハー取扱い技術が必要
⇒ 仮接着システム

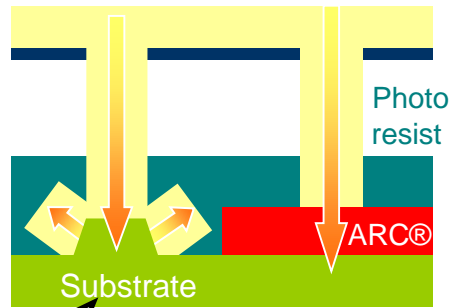
仮接着システム使用



高温プロセス 対応可

EUV下層膜

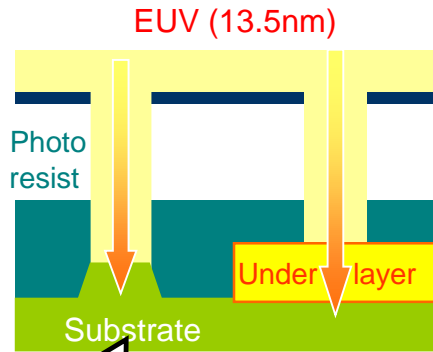
従来のリソグラフィー



基板からの反射

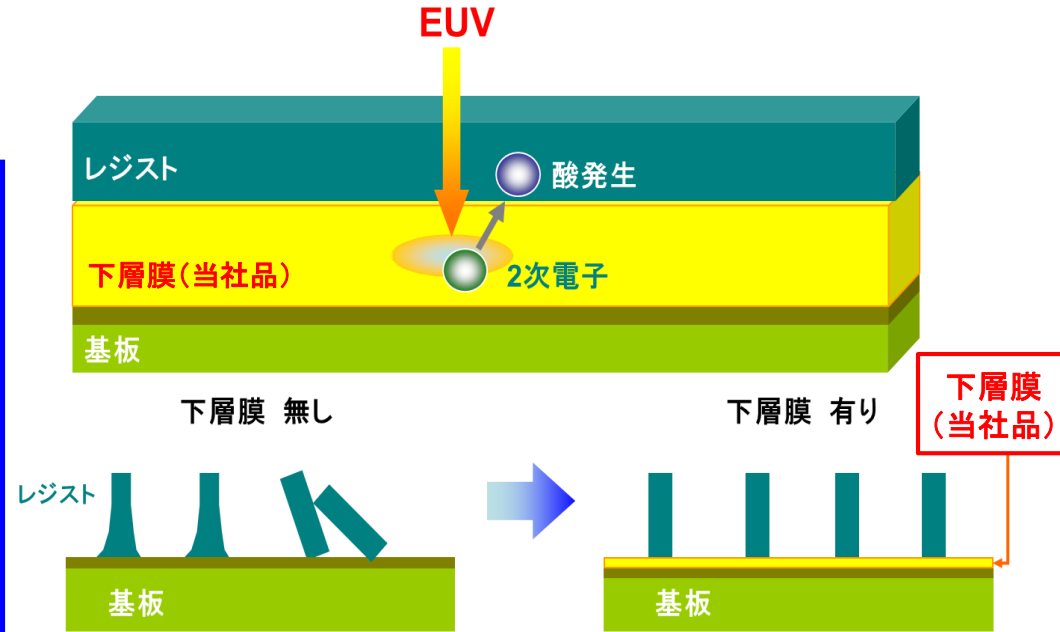
基板界面で光が反射し、
ARC®のような
反射防止膜が必要

EUVリソグラフィー



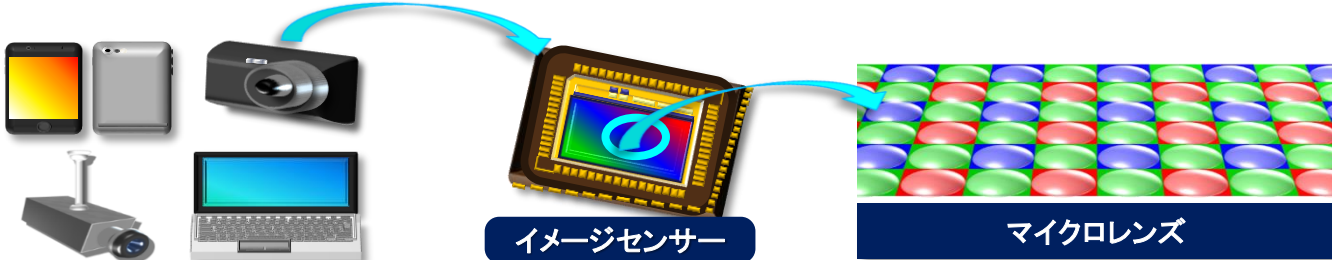
EUV光は基板を透過

EUVは界面反射なし(透過)
反射防止機能は不要

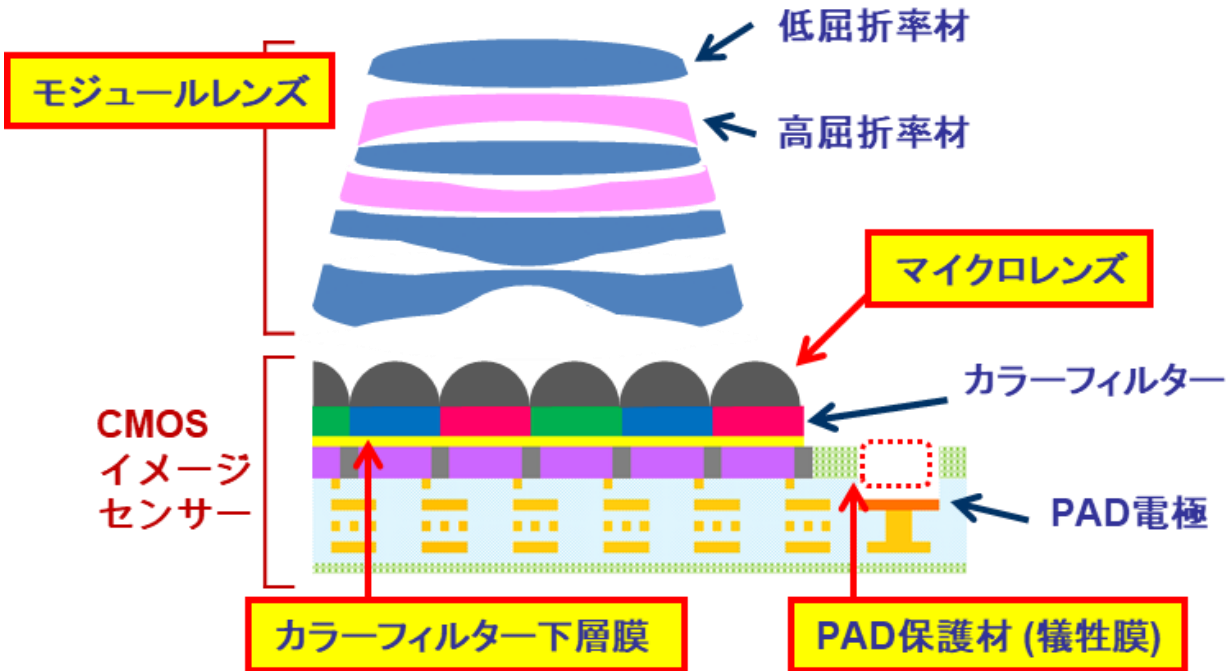


超微細パターン(<20nm)のため、
容易に基板の影響を受けて形状悪化、
倒れが発生

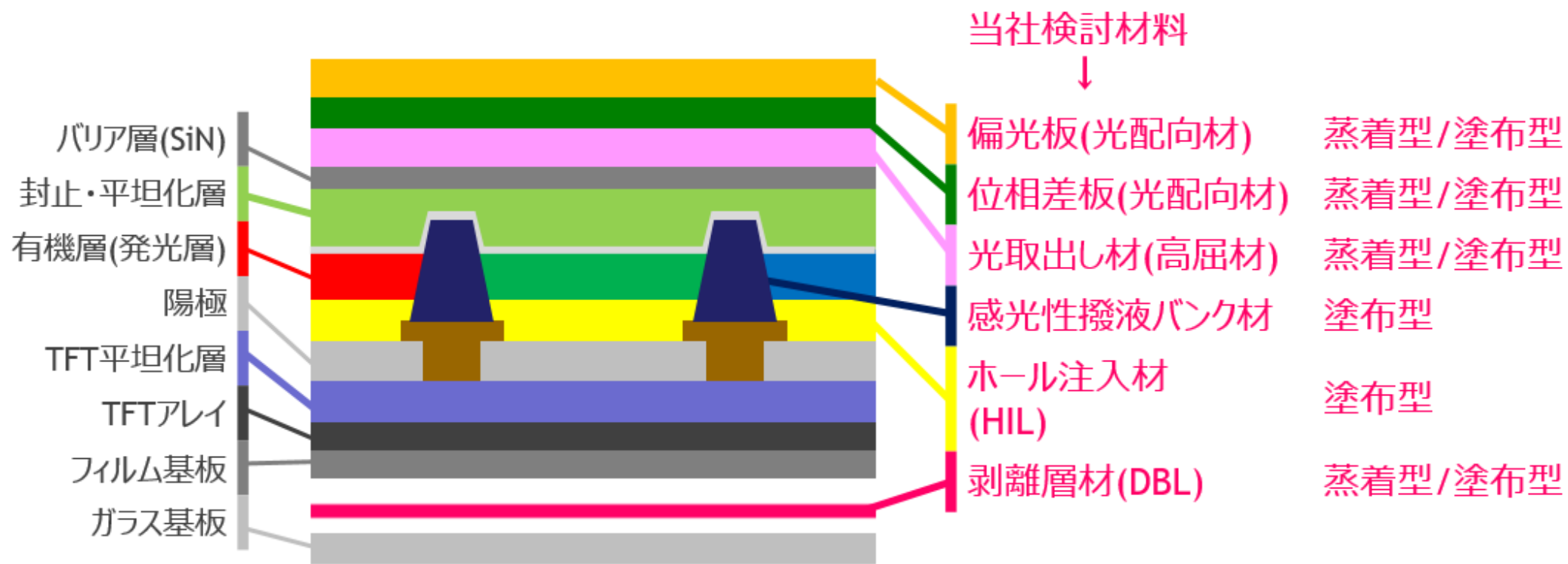
CMOSイメージセンサー材料



当社材料

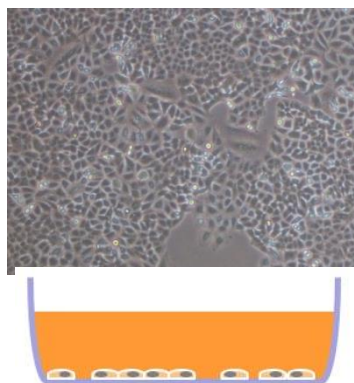


有機EL材料



細胞培養材料

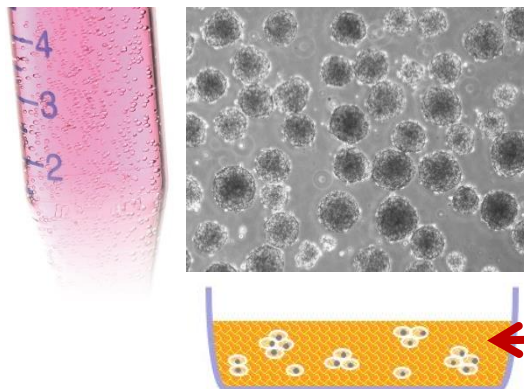
Conventional 2D method



New 3D method

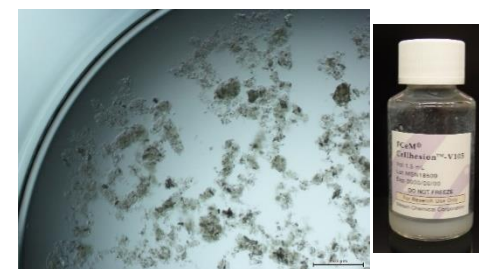
FCeM[®]

細胞の大量培養または品質向上を実現



Cellhesion[®]

間葉系幹細胞分散培養基材



当社材料

- ・iPS/ES細胞や間葉系幹細胞などを大量培養する際に使う添加剤
- ・当社材を加えることで、細胞を均一に分散・浮遊させられる

三次元培養培地作製キット



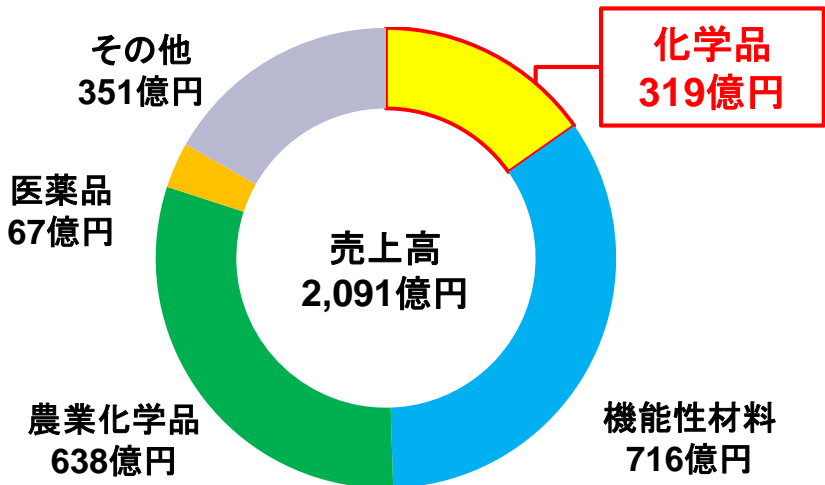
三次元培養キット



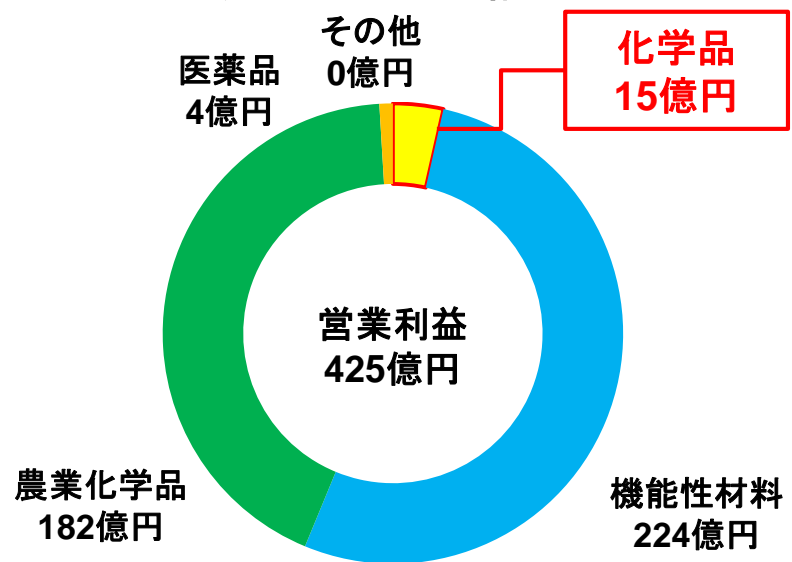
(白紙)

化学品セグメント概況- (A) 業績

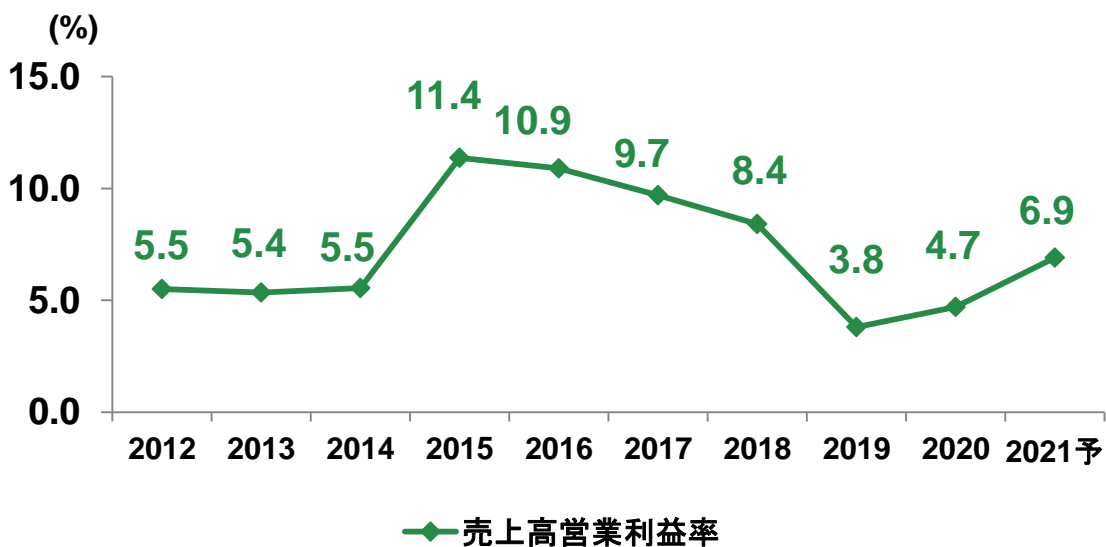
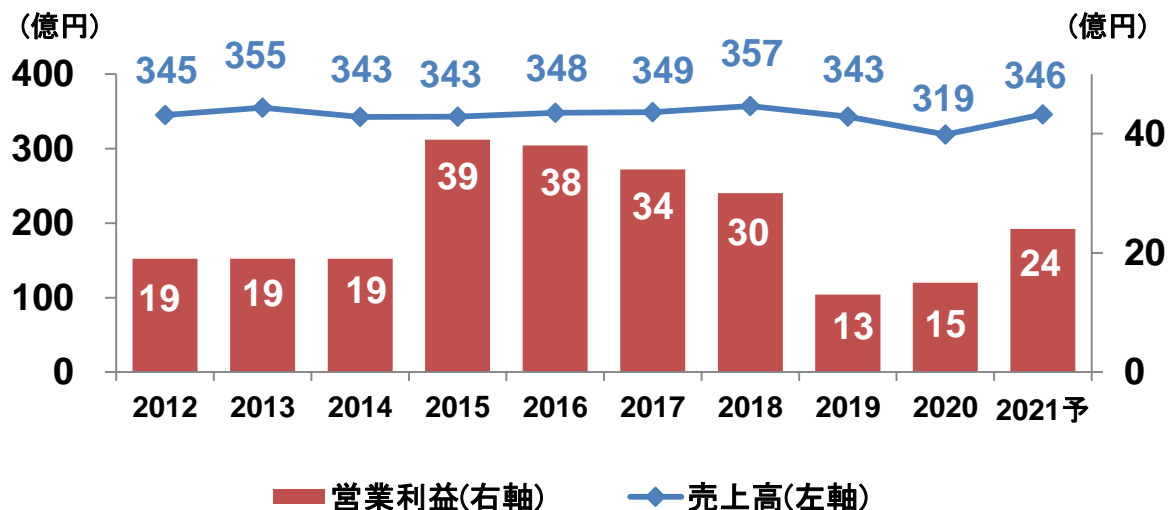
1. 2020年度 売上高構成



2. 2020年度 営業利益構成

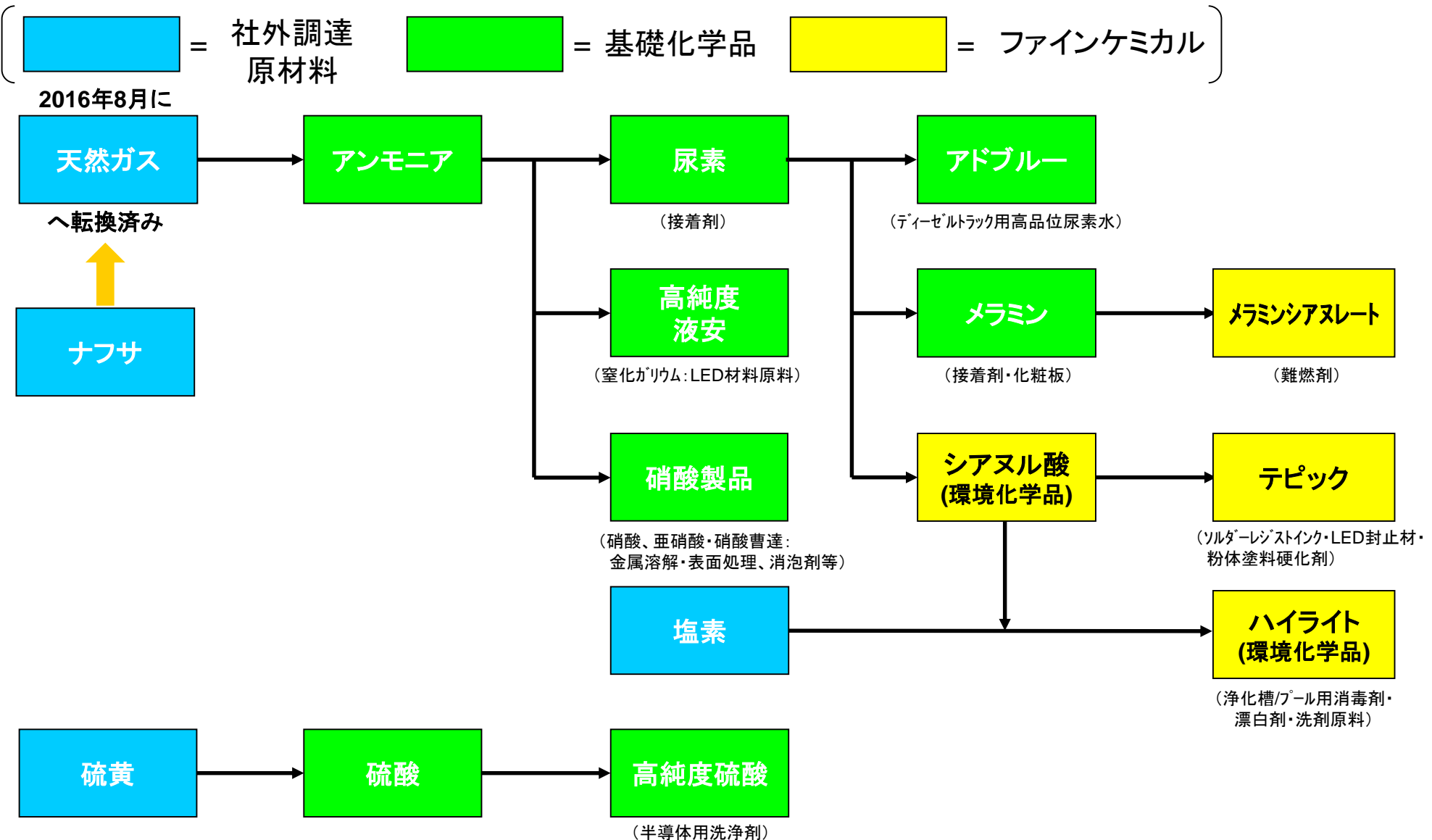


3. 化学品業績推移



化学品セグメント概況- (B) 主要製品製造フロー

- ◆基礎化学品主要製品 : アンモニア系製品と硫酸系製品
- ◆2020年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上



化学品セグメント概況- (C) 主要製品売上高成長率

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率(1)										
		2020予想 (2020/11 発表)			2020実績					2021予想		
		上実績	下	計	上	3Q	4Q	下	計	上	下	計
テピック	◆(用途) 電材向け(ウルターレジストインキ、LED封止材) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	-10%	+1%	-4%	-10%	+10%	+6%	+7%	-1%	+21%	-6%	+6%
環境 化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、 プール、浄化槽等の殺菌、消毒に使用	-9%	+22%	+4%	-9%	+2%	+3%	+3%	-4%	+19%	+29%	+24%
ファインケミカル合計 上記2製品の2020年度実績ファインケミカル売上高に占める割合: 74%		+3%	+21%	+12%	+3%	+14%	+16%	+15%	+9%	+17%	+9%	+13%
メラミン	◆(用途) 接着剤、化粧板	-55%	-49%	-52%	-55%	-37%	-30%	-33%	-44%	+13%	-2%	+4%
尿素・ アドブルー	◆(用途) 接着剤、 ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	-5%	-1%	-3%	-5%	+3%	+9%	+6%	0%	+15%	+3%	+8%
高純度 硫酸	◆(用途) 半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	+14%	+19%	+17%	+14%	+8%	+11%	+10%	+12%	+9%	+4%	+6%
硝酸製品	◆硝酸、亜硝酸・硝酸曹達 (用途) 金属溶解・表面処理、消泡剤等	-2%	+7%	+3%	-2%	+11%	+15%	+13%	+5%	+16%	0%	+7%
基礎化学品合計 上記4製品の2020年度実績基礎化学品売上高に占める割合: 53%		-20%	-13%	-16%	-20%	-11%	-7%	-9%	-14%	+12%	+1%	+6%

(1) 2020年度よりファインオキシコール(化粧品原料等)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

(白紙)

化学品セグメント概況- (D-1) セグメント収益動向

(億円)

	2019実績					2020下予想 (20/11発表)			2020実績(A)							2021予想(B)					増減 (B) - (A)				
	上	3Q	4Q	下	計	3Q	4Q	下	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
売上高	168	87	88	175	343	81	89	170	74	73	147	83	89	172	319	84	83	167	179	346	+10	+10	+20	+7	+27
ファイン	52	26	27	53	105	29	35	64	27	27	54	28	32	60	114	32	31	63	66	129	+5	+4	+9	+6	+15
基礎	116	61	61	122	238	52	54	106	47	46	93	55	57	112	205	52	52	104	113	217	+5	+6	+11	+1	+12
営業利益	3	5	5	10	13	7	6	13	7	-8	-1	7	9	16	15	13	-3	10	14	24	+6	+5	+11	-2	+9
FO*売上高	7	-	-	8	15	-	-	8	-	-	6	-	-	6	12	-	-	7	8	15					

*2020年度よりファインオキシコール(FO、化粧品原料等)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2020 4Q実績 <前年同期比>

2020 4Q実績 <2020/11業績予想比>

- (ファイン)
- ◆ 増収: テピック一般(輸出回復)、テピック電材(車載向け回復)、環境(輸出好調)
 - ◆ 原燃料安
 - ◆ 売上高増加(FO*移管プラス影響含む)、営業利益増加
- (基礎)
- ◆ 増収: 硝酸製品、高純度硫酸(半導体向け好調)、尿素・アドブルー
 - ◆ 減収: メラミン輸出(スプレッド重視で数量減の方針)、メラミン国内
 - ◆ 原燃料安
 - ◆ 在庫変動影響(プラス要因)
 - ◆ 売上高減少(FO*移管マイナス影響含む)、営業利益増加
- (合計)
- ◆ 売上高+1億円、営業利益+4億円

- (ファイン)
- ◆ 売上高予想通り: テピック電材
 - ◆ 売上高下ぶれ: 環境、テピック一般、FO*
 - ◆ 在庫変動影響(プラス要因)
 - ◆ 売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
- (基礎)
- ◆ 売上高上ぶれ: メラミン輸出(需要回復)、硝酸製品、尿素・アドブルー
 - ◆ 売上高下ぶれ: 高純度硫酸、メラミン国内
 - ◆ 原燃料高、運送費高
 - ◆ 在庫変動影響(プラス要因)
 - ◆ 売上高上ぶれ、営業利益予想通り
- (合計)
- ◆ 売上高予想通り、営業利益+3億円

化学品セグメント概況- (D-2) セグメント収益動向

*FO: ファインオキシコール(p33参照)

2020下実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般(輸出回復)、
テピック電材(車載向け回復)、環境(輸出好調)
◆ 原燃料安
◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
◆ 売上高増加(FO*移管プラス影響含む)、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体向け好調)、硝酸製品、
尿素・アドブルー
◆ 減収: メラミン輸出(スプレッド重視で数量減の方針)、
メラミン国内
◆ 原燃料安
◆ 在庫変動影響(プラス要因)
◆ 売上高減少(FO*移管マイナス影響含む)、営業利益増加
- (合計) ◆ 売上高-3億円、営業利益+6億円

2020実績

<前年同期比>

- (ファイン) ◆ 増収: テピック一般
◆ 減収: 環境(輸出増収、国内プール、スパ向け減収)、
テピック電材(車載向け上期まで低調)
◆ 原燃料安
◆ 売上高増加(FO*移管プラス影響含む)、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: 高純度硫酸(半導体向け好調)、硝酸製品
◆ 横ばい: 尿素・アドブルー
◆ 減収: メラミン輸出(スプレッド重視で数量減の方針)、
メラミン国内
◆ 原燃料安
◆ 売上高減少(FO*移管マイナス影響含む)、営業利益減少
- (合計) ◆ 売上高-24億円、営業利益+2億円

2020下実績

<2020/11業績予想比>

- (ファイン) ◆ 売上高上ぶれ: テピック一般(輸出回復)、
テピック電材(車載向け回復)
◆ 売上高下ぶれ: 環境、FO*(化粧品向け低調)
◆ 固定費下ぶれ(プラス要因)
◆ 原燃料高
◆ 売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
- (基礎) ◆ 売上高上ぶれ: メラミン輸出(需要回復)、硝酸製品、
尿素・アドブルー
◆ 売上高下ぶれ: 高純度硫酸、メラミン国内
◆ 原燃料安
◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (合計) ◆ 売上高+2億円、営業利益+3億円

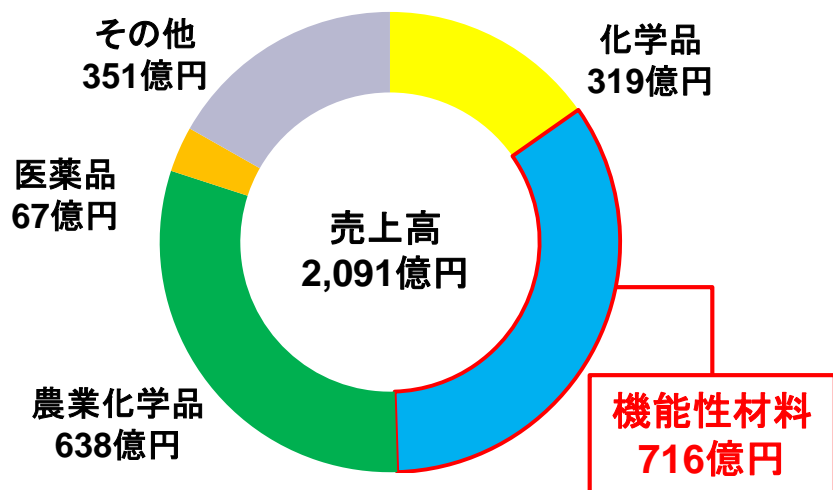
2021予想

<前年同期比>

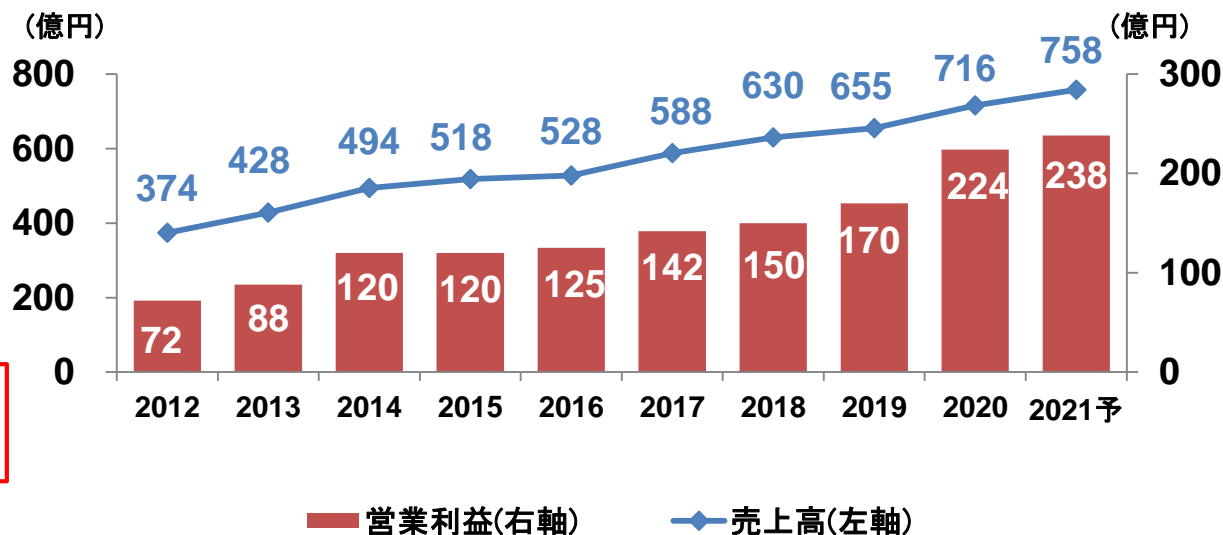
- (ファイン) ◆ 増収: 環境(CA能力増強、輸出好調)、
FO*(化粧品向け回復)、
テピック電材(車載向け回復)、テピック一般(輸出価格上昇)
◆ 固定費増加(CA能力増強)
◆ 在庫変動影響(プラス要因)
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎) ◆ 増収: メラミン国内(需要回復)、硝酸製品、
尿素・アドブルー、高純度硫酸(半導体向け好調)
◆ 減収: メラミン輸出(スプレッド重視で数量減の方針)
◆ 固定費増加(タンク更新等)、原燃料高
◆ 在庫変動影響(マイナス要因)
◆ 売上高増加、営業利益横ばい
- (合計) ◆ 売上高+27億円、営業利益+9億円

機能性材料セグメント概況 – (A) 業績

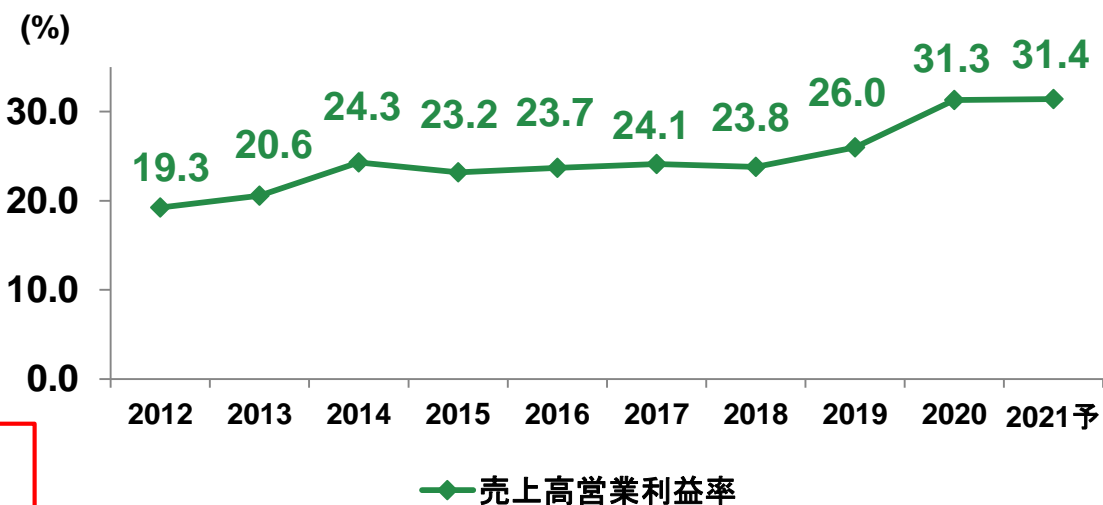
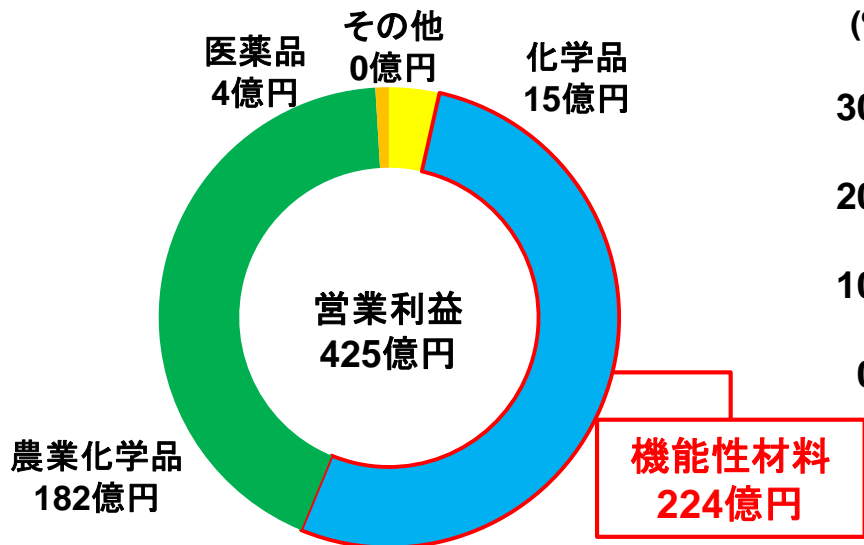
1. 2020年度 売上高構成



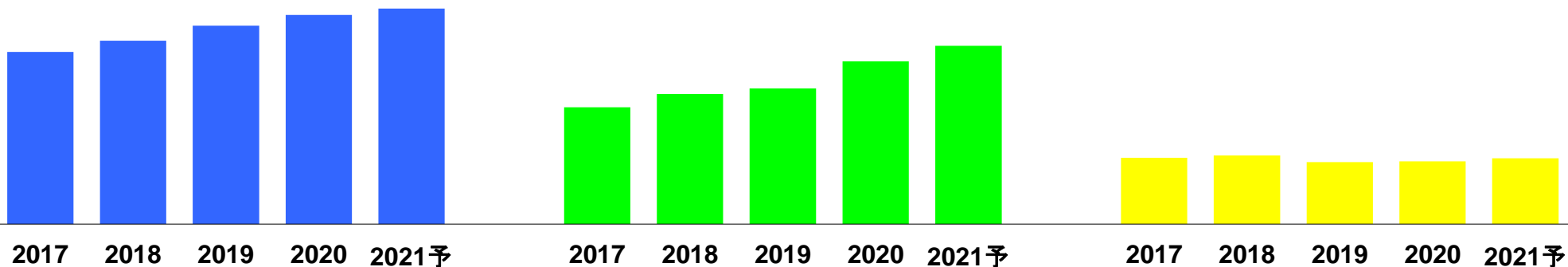
3. 機能性材料業績推移



2. 2020年度 営業利益構成



機能性材料セグメント概況 – (B) 2017-2021年度 売上高構成推移



< ディスプレイ材料 >

サンエバー：液晶配向材用ポリイミド

< 半導体材料 >

ARC®：半導体用反射防止コーティング材

多層材料：半導体用多層プロセス材料
(OptiStack®)

その他

新材料：EUV材料、三次元実装材
CMOSイメージセンサー材料等

< 無機コロイド >

スノーテックス：研磨材(シリコンウェハー、
化合物半導体、半導体CMP等)
特殊鋼板

オルガノゾル・

モノマーゾル：電子機器用フィルム表面処理、
樹脂添加剤

オイル&ガス材料：シェールオイル・ガス採掘効率向上材

機能性材料セグメント概況 - (C) 主要製品売上高成長率

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率											
	2020予想 (2020/11 発表)			2020実績					2021予想			
	上実績	下	計	上	3Q	4Q	下	計	上	下	計	
サンエパー	+7%	0%	+3%	+7%	+5%	+2%	+4%	+5%	+5%	0%	+2%	
ディスプレイ材料合計	+7%	+1%	+4%	+7%	+5%	+3%	+4%	+5%	+5%	+1%	+3%	
ARC®	KrF (ARC®)	+14%	-3%	+5%	+14%	+18%	+11%	+14%	+14%	+2%	-2%	0%
	ArF (ARC®)	+16%	+10%	+13%	+16%	+20%	+11%	+15%	+16%	+11%	+11%	+11%
ARC® 小計	+16%	+6%	+11%	+16%	+21%	+10%	+15%	+16%	+10%	+9%	+9%	
その他半導体材料 計(1)	+51%	+17%	+31%	+51%	+30%	+3%	+16%	+31%	+7%	+14%	+11%	
半導体材料合計	+25%	+9%	+16%	+25%	+23%	+8%	+15%	+20%	+9%	+10%	+10%	
スノーテックス	+2%	0%	+1%	+2%	+9%	+8%	+9%	+5%	+9%	+5%	+7%	
オルガノソル・モノマーソル	-15%	-3%	-9%	-15%	+24%	-19%	-1%	-8%	+7%	-2%	+2%	
オイル & ガス材料	-91%	-15%	-52%	-91%	+112%	+172%	+123%	+18%	+1,483%	-39%	+17%	
無機コロイド合計	-8%	-2%	-5%	-8%	+15%	+7%	+10%	+1%	+13%	-2%	+5%	
上記3製品の2020年度連結無機売上高に占める割合: 83%												

(1) 多層材料(OptiStack®)、EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材等

*NCK: 連結子会社(韓国)、DP: 半導体材料のR&D・製造・販売

◆ 半導体材料 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器、開発設備、生産設備投資

主要投資(承認ベース):

14年 評価機器11億円

15年 開発設備28億円・評価機器8億円、増強8億円、NCK*7億円、半導体材料研5億円

16年 NCK*26億円、評価機器10億円、半導体材料研4億円

17年 半導体材料研4億円

18年 ARC®増強2億円、製造試験設備2億円

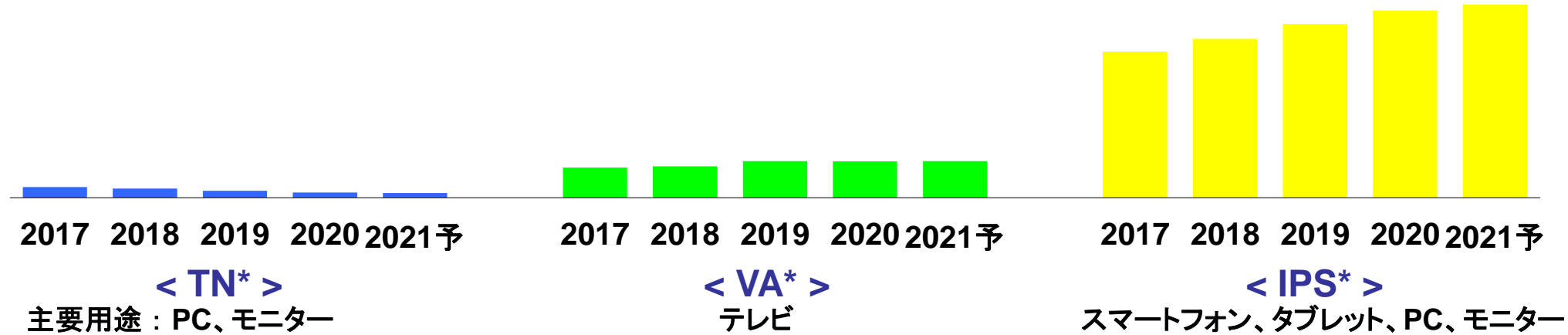
19年 半導体材料研1億円、製造試験設備1億円

20年 評価機器18億円、NCK*4億円、製造試験設備2億円、ARC®増強2億円、半導体材料研2億円

21年 製造試験設備3億円、半導体材料研1億円、ARC®増強1億円、評価機器1億円

機能性材料セグメント概況 – (D) サンエバー

<モード別売上高推移>



<モード別前年同期比売上高成長率>

	2020予想 (2020/11 発表)	2020実績	2021予想
TN	↓↓↓	↓↓↓	↓↓
VA	↓	↓	↑
IPS	↑	↑	↑
サンエバー計	+3%	+5%	+2%

前年同期比売上高増減

+20～+29%	↑↑↑
+10～+19%	↑↑
+0～+9%	↑
-0～-9%	↓
-10～-19%	↓↓
-20～-29%	↓↓↓

*TN : Twisted Nematic, VA : Vertical Alignment, IPS : In-Plane Switching

機能性材料セグメント概況 – (E-1) セグメント収益動向

(億円)

	2019実績					2020下予想 (20/11発表)			2020実績(A)						2021予想(B)					増減 (B) - (A)					
	上	3Q	4Q	下	計	3Q	4Q	下	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
売上高	314	170	171	341	655	175	177	352	171	175	346	192	178	370	716	186	186	372	386	758	+15	+11	+26	+16	+42
営業利益	84	47	39	86	170	49	50	99	53	54	107	63	54	117	224	55	61	116	122	238	+2	+7	+9	+5	+14

2020 4Q実績 <前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収、VA増収、TN減収
固定費減少3億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料増収・その他新材料減収)
半導体市場全般好調
固定費減少6億円
- ◆ 無機増収、増益
スノーテックス増収(一般用途増収・研磨材増収)、
オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料増収(3Qより新規受注獲得)
固定費減少2億円
- ◆ 固定費減少合計11億円
- ◆ 売上高+7億円、営業利益+15億円

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2020 4Q実績 <2020/11業績予想比>

- ◆ DP売上高下ぶれ、営業利益下ぶれ
光IPS下ぶれ(3Qへ前倒し、スマホ下ぶれ、非スマホ上ぶれ)、
ラビングIPS下ぶれ、VA上ぶれ、TN下ぶれ
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ、
その他下ぶれ(多層材料下ぶれ・その他新材料予想通り)
半導体市場全般好調
固定費下ぶれ4億円(プラス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
スノーテックス上ぶれ(一般用途上ぶれ・研磨材上ぶれ)
オルガノ・モノマーゾル下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計8億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+1億円、営業利益+4億円

機能性材料セグメント概況 – (E-2) セグメント収益動向

半導体その他新材料: EUV材料、CMOSイメージセンサー材料、三次元実装材合計

2020下実績

<前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収、
VA増収、TN減収
固定費減少1億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料増収・その他新材料増収)
半導体市場全般好調
固定費減少7億円
- ◆ 無機増収、増益
スノーテックス増収(一般用途増収・研磨材増収)、
オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料増収(3Qより新規受注獲得)
固定費減少3億円
- ◆ 固定費減少合計11億円
- ◆ 売上高+29億円、営業利益+31億円

2020実績

<前年同期比>

- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収、
VA減収、TN減収
固定費増加1億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料増収・その他新材料増収)
半導体市場全般好調
固定費減少13億円
- ◆ 無機増収、増益
スノーテックス増収(一般用途減収・研磨材増収)、
オルガノ・モノマーゾル減収、
オイル&ガス材料増収(3Qより新規受注獲得)
固定費減少6億円
- ◆ 固定費減少合計18億円
- ◆ 売上高+61億円、営業利益+54億円

2020下実績

<2020/11業績予想比>

- ◆ DP売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
光IPS上ぶれ(スマホ下ぶれ、非スマホ上ぶれ)、
ラビングIPS下ぶれ、VA上ぶれ、TN上ぶれ
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
ARC®上ぶれ、その他予想通り(多層材料下ぶれ・その他新材料上ぶれ)
半導体市場全般好調
固定費下ぶれ5億円(プラス要因)、在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
- ◆ 無機売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
スノーテックス上ぶれ(一般用途上ぶれ・研磨材上ぶれ)
オルガノ・モノマーゾル上ぶれ、オイル&ガス材料上ぶれ(3Q新規受注獲得)
固定費下ぶれ2億円(プラス要因)
- ◆ 固定費下ぶれ合計9億円(プラス要因)
- ◆ 売上高+18億円、営業利益+18億円

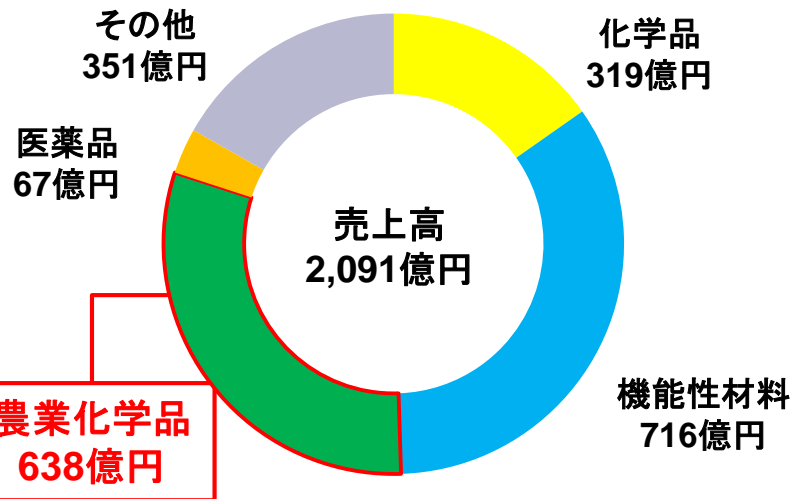
2021予想

<前年同期比>

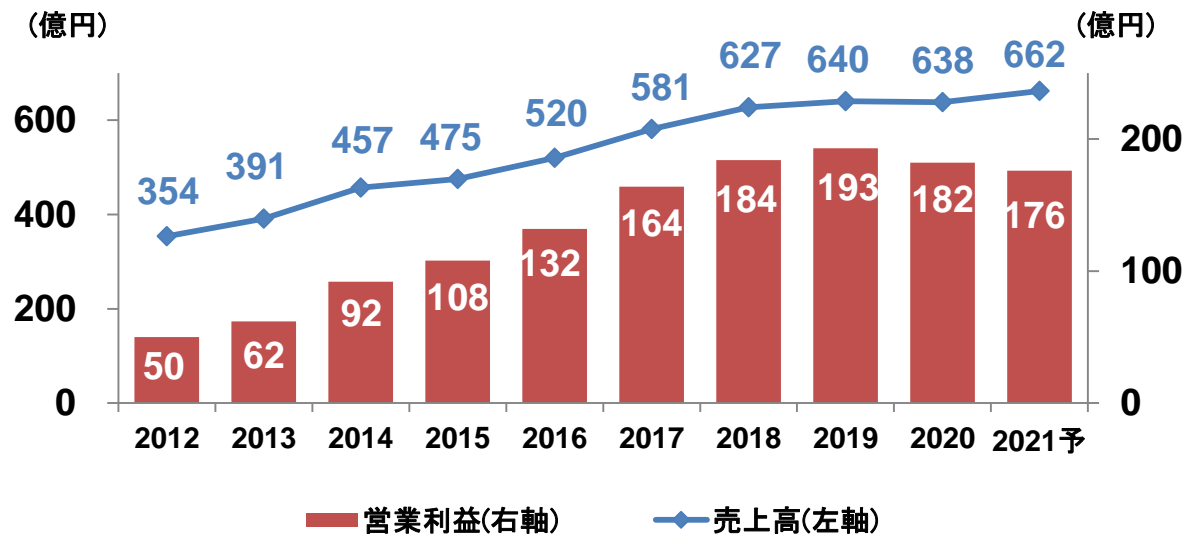
- ◆ DP増収、増益
光IPS増収(非スマホ好調)、ラビングIPS減収、
VA増収、TN減収
固定費減少1億円
- ◆ 半導体増収、増益
ARC®増収、その他増収(多層材料増収・その他新材料増収)
半導体市場全般好調
固定費増加10億円
- ◆ 無機増収、減益
スノーテックス増収(一般用途アルミナ繊維等増収・研磨材横ばい)、
オルガノ・モノマーゾル増収、オイル&ガス材料増収
固定費増加6億円
- ◆ 固定費増加合計16億円(共通費用増加1億円含む)
- ◆ 売上高+42億円、営業利益+14億円

農業化学品セグメント概況- (A) 業績

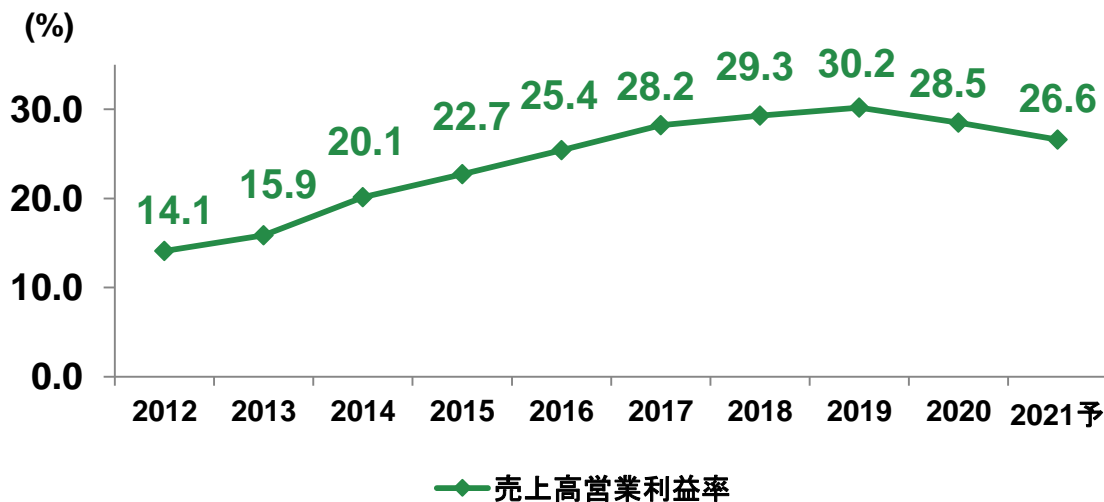
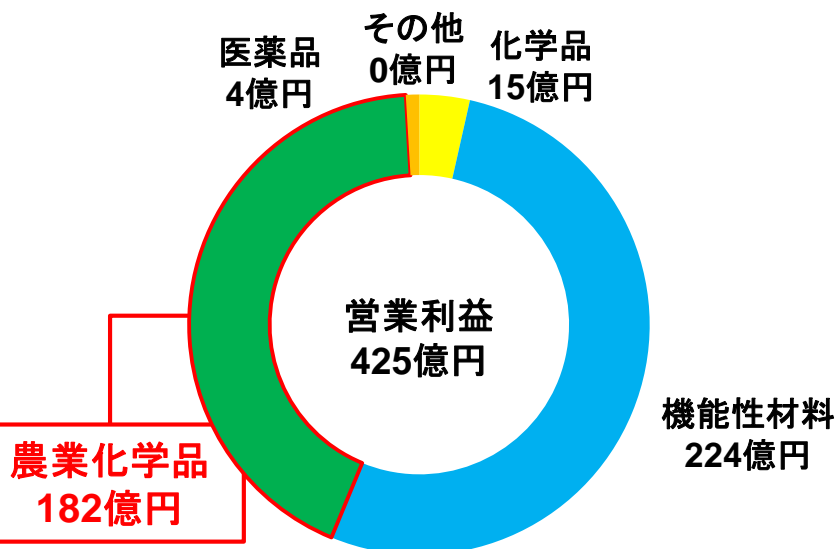
1. 2020年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移



2. 2020年度 営業利益構成



農業化学品セグメント概況- (B) 主要製品売上高成長率(値引前)

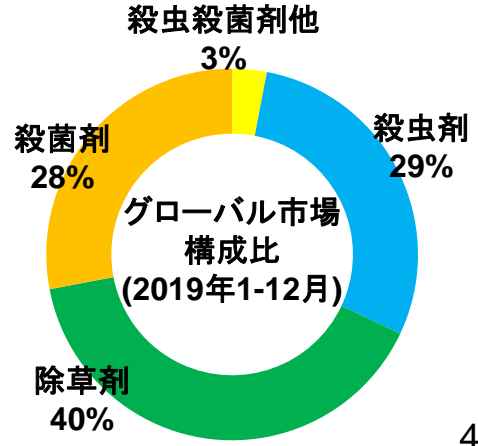
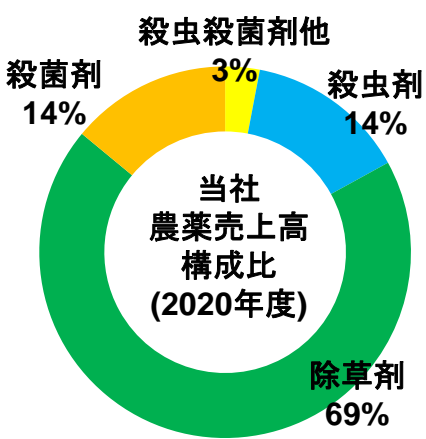
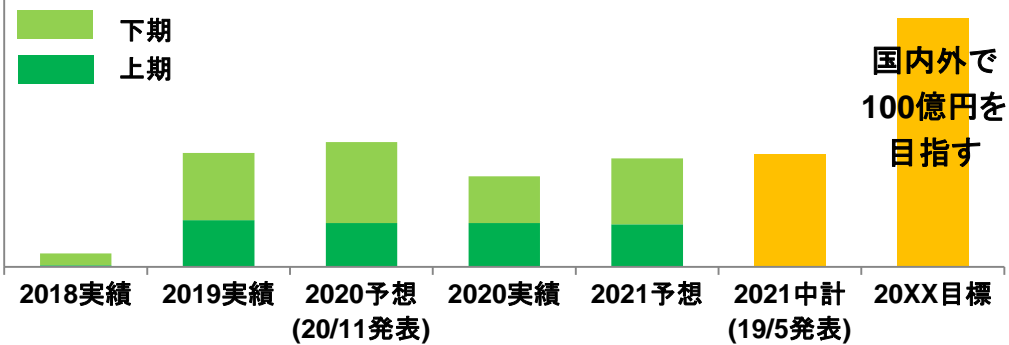
主要製品名 (2020年売上高順)	種類	前年同期比 連結売上高成長率			
		2019実績	2020予想 (2020/11発表)	2020実績	2021予想
ラウンドアップ(1)	除草	+6%	0%	0%	+4%
フルララネル	動物薬	-9%	-11%	-12%	-11%
アルテア	除草	+4%	+16%	+11%	0%
タルガ	除草	-19%	+4%	-1%	+1%
グレーシア	殺虫	+700%以上	+10%	-20%	+20%
パーミット	除草	+8%	-5%	+8%	-22%
ライメイ	殺菌	-16%	+11%	+20%	+22%
クインテック	殺菌	-	+25%	-8%	+61%
ダイセン	殺菌	-	-	-	+200%以上
農業化学品 セグメント合計	-	+3%	+1%	0%	+4%

◆国内農薬販売額第1位
(2018年10月～2019年9月)

⇒2020年1月22日開催
ラウンドアップの現状説明会資料参照
https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2020_01_23.pdf

(1) ラウンドアップマックスロードALは2020年度ラウンドアップ売上高全体の22%を占める

■グレーシア売上高成長予想



農業化学品セグメント概況－(C)直近の農薬製品買収

◆クインテック(キノキシフェン)

- ・2019年11月米国コルテバ社より事業を買収
- ・2019年12月販売開始
- ・クインテック = キノキシフェン(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹、野菜用殺菌剤、主な市場は米国
- ・果樹(特にブドウ)や野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的

◆ダイセン(マンゼブ)

- ・2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収
- ・2021年1月国内販売開始
- ・ダイセン = マンゼブ(有効成分)を含む製品群中の主製品
- ・果樹(特にりんご、かんきつ)・野菜用保護殺菌剤、耐雨性に優れる
- ・監査後無形固定資産の償却期間は、資産の種類別に5年・16年(定額法)(加重平均15.6年)で確定(監査前は5年で仮計算)

＜ダイセン収益予想＞

監査後、2020年12月21日プレスリリースより変更あり (億円)

年度	営業利益	償却前営業利益
2020	3	4
2021	7	11
2022-26計	36	53

農業化学品セグメント概況- (D) 主要製品

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2009	プレバソン	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤 2016年AL II、2018年AL III上市、急成長
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社*向けにブラベクト原薬として出荷開始
2014	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
2015	トレファノサイド	除草剤	導入	米国ゴーワン社がダウ社より買収、当社は国内販売独占権を継承
2017	ネクスター	殺菌剤	導入	スイス シンジェンタ社より導入
2017	トランスフォーム™/エクシード™/ ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2017	エグゾルト**	家畜動物用医薬品	-	9月米国MSD社による、欧州でのニワトリ用製品上市
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない 2018年韓国で上市(ピーク時売上高目標100億円)
2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収 果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収 果樹野菜用の保護殺菌剤、耐雨性に優れる

新製品パイプライン

2023	未定(ピラプロポイン)(NC-241)	殺菌剤	自社開発	汎用性(ピーク時売上高目標50億円)
2024	未定(ジメスルファゼット)(NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや 難防除雑草クログワイに高い効果を持つ (ピーク時売上高目標30億円)
2027	未定(NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ、アゼガヤ)に優れた効果を持つ 当社初の水稲用茎葉散布除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

**ブラベクト、エグゾルト:MSD社の販売製品名

◆2020年度連結実績 輸出比率:39%(アジア25%、欧州・アフリカ60%、北・中南米15%) ※フルララネルを含める

新製品群(グレーシア、クインテック、ダイセン、NC-241、653、656)のピーク売上高目標合計330億円

農業化学品セグメント概況- (E-1) フルララネル

◆フルララネル(Fluralaner)

- BRAVECTO・EXZOLTの有効成分として、当社がMSD社*に供給
- BRAVECTOシリーズ・EXZOLTは現在100か国以上で販売中
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
 - ・2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
 - ・UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門の
MSD Animal Health 社の略称

◆ブラベクト(BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間**にわたって持続する

**クリイロコイタマダニは8週間

- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)

2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市、2019年7月中国上市

2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市

- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)

(猫)2016年7月欧州、以降米国、日本等上市

(犬)2017年1月米国・欧州等上市、2021年1月日本上市

◆ブラベクトプラス(BRAVECTO Plus)

- 猫向け外内部寄生虫スポットオン合剤

2018年7月欧州、以降米国等上市、2021年1月日本上市

◆エグゾルト(EXZOLT)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)

2017年9月欧州、以降韓国、中東等上市、2021年4月日本販売承認

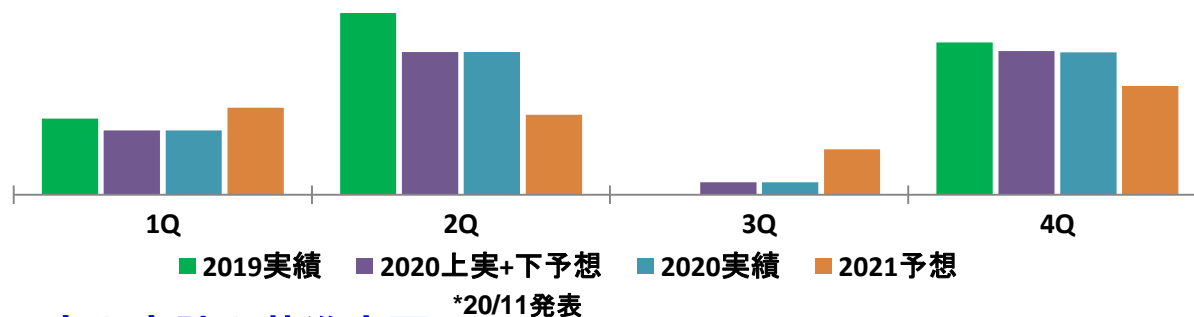


農業化学品セグメント概況- (E-2) フルララネル

◆当社売上高構成

MSD社へのフルララネル販売、MSD社からのランニングロイヤリティ(RR)収入

◆2019～2021年四半期別売上高推移(ロイヤリティ収入含む)



◆2021年度よりRR売上高計上基準変更

(2020年度まで)MSD売上高1-6月分:8月計上、同7-12月分:2月計上

(2021年度より)MSD売上高1-3月分:5月計上、同4-6月分:8月計上、

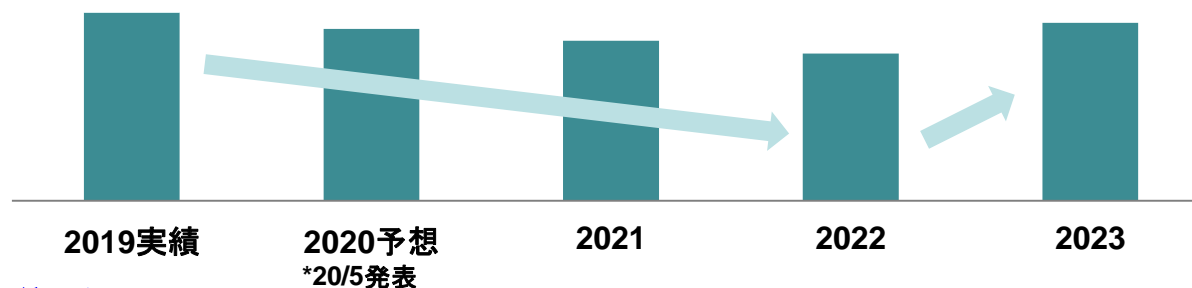
同7-9月分:11月計上、同10-12月分:2月計上

◆2019～2023年売上高推移イメージ(2020年5月作成)

・ブラケット売上高は順調に成長

・一方、フルララネルは在庫調整が継続すると見られ、

売上高(ロイヤリティ収入含む)は2022年まで減少、2023年に回復の見込み



◆ブラケットの開発分野

ペット向けに新たな内外部寄生虫薬等、家畜向け経皮投与剤を開発中

農業化学品セグメント概況－(F) インド合弁会社の設立

Nissan Bharat Rasayan Private Limited (NBR) 概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon) (ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設(土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農薬(グレーシア、ライメイ、クインテック等)原体、中間体を製造し、当社へ販売
従業員数	150-200名(2022年想定)
工場稼働予定	2022年度2Q
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

<資金計画(億円)>

設備投資	43	資本金(15億ルピー)	23
運転資金他	24	当社貸付	33
		現地銀行借入	11
所要資金合計	67	資金調達合計	67

Bharat Rasayan Ltd (BRL) 概要

設立	1989年(インド大手農薬製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.8%
損益状況	2019年度売上高12,151百万ルピー、税引後利益1,576百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana)ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Insecticides Ltd(BIL)がタルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

<当社連結営業利益への貢献予想(2020年5月発表)(概算、億円)>

年度	2021	2022	2023	2024	2025
営業利益	-3	5	12	20	32

当社メリット

- ・信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- ・有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- ・国内工場に比べて低い製造コスト
- ・すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- ・既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減

(白紙)

農業化学品セグメント概況 – (G-1) セグメント収益動向

(億円)

	2019実績					2020下予想 (20/11発表)			2020実績(A)						2021予想(B)					増減 (B) - (A)					
	上	3Q	4Q	下	計	3Q	4Q	下	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
売上高	279	55	306	361	640	82	307	389	146	111	257	63	318	381	638	145	103	248	414	662	-1	-8	-9	+33	+24
営業利益	94	-18	117	99	193	-7	116	109	40	38	78	-13	117	104	182	38	20	58	118	176	-2	-18	-20	+14	-6

2020 4Q実績

<前年同期比>

- ◆ 増収: ダイセン(4Q販売開始)、アルテア(国内・輸出)、ライメイ(国内・輸出)、グレーシア(輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 減収: グレーシア(国内)、クインテック(輸出)、フルララネル(ブラベクト在庫調整影響)、ラウンドアップ(ML減収、AL増収)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費減少2億円
- ◆ 棚卸評価損-2億円(マイナス要因)
- ◆ 在庫変動影響-3億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+12億円、営業利益横ばい

2020 4Q実績

<2020/11業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: ダイセン(4Q販売開始)、ライメイ(国内・輸出)、グレーシア(輸出)、パーミット(輸出)、クインテック(輸出)
- ◆ 売上高予想通り: フルララネル
- ◆ 売上高下ぶれ: グレーシア(国内)、ラウンドアップ(ML・AL)、アルテア(国内・輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
- ◆ 棚卸評価損-2億円(マイナス要因)
- ◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+11億円、営業利益+1億円

農業化学品セグメント概況 – (G-2) セグメント収益動向

2020下実績 <前年同期比>

- ◆ 増収:ダイセン(4Q販売開始)、アルテア(国内・輸出)、パーミット(輸出)、ライメイ(国内・輸出)、タルガ(輸出)、グレーシア(輸出)、ラウンドアップ[®](ML・AL)、フルララネル(RR)
- ◆ 減収:グレーシア(国内)(長雨、在庫調整)、クインテック(輸出)
- ◆ 固定費減少3億円(うちクインテック、ダイセン償却費増加2億円)
- ◆ 棚卸評価損-2億円(マイナス要因)
- ◆ 在庫変動影響-4億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高+20億円、営業利益+5億円

2020下実績 <2020/11業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ:ダイセン(4Q販売開始)、パーミット(国内・輸出)、ライメイ(国内・輸出)
- ◆ 売上高予想通り:フルララネル、ラウンドアップ(ML・AL)
- ◆ 売上高下ぶれ:グレーシア(国内)(長雨、在庫調整)、アルテア(国内・輸出)、クインテック(輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費下ぶれ1億円(プラス要因)(ダイセン償却費増加1億円)
- ◆ 棚卸評価損-2億円(マイナス要因)
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-8億円、営業利益-5億円

2020実績 <前年同期比>

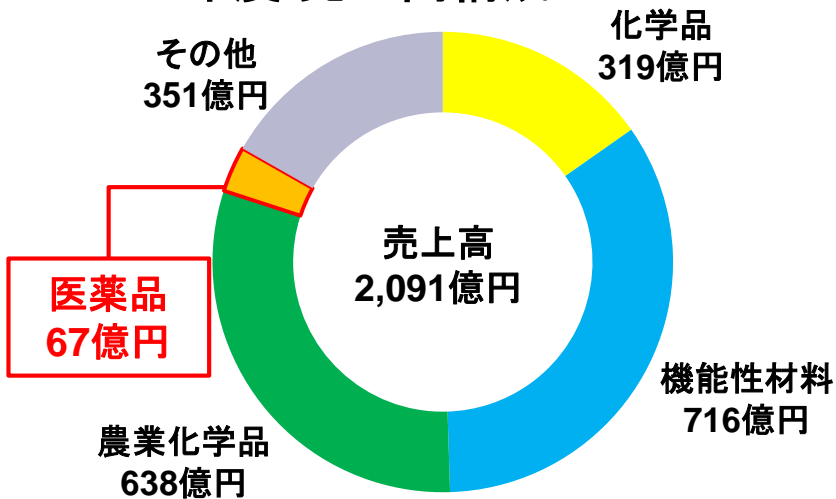
- ◆ 増収:ダイセン(4Q販売開始)、アルテア(国内・輸出)、グレーシア(輸出)、ライメイ(国内・輸出)、パーミット(輸出)
- ◆ 横ばい:ラウンドアップ(AL増収、ML減収)
- ◆ 減収:フルララネル(ブラベクト在庫調整)、グレーシア(国内)(低温・長雨、在庫調整)、クインテック(輸出)、タルガ(輸出)
- ◆ 固定費増加3億円(うちクインテック、ダイセン償却費増加6億円)
- ◆ 棚卸評価損-2億円(マイナス要因)
- ◆ 在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
- ◆ 売上高-2億円、営業利益-11億円

2021予想 <前年同期比>

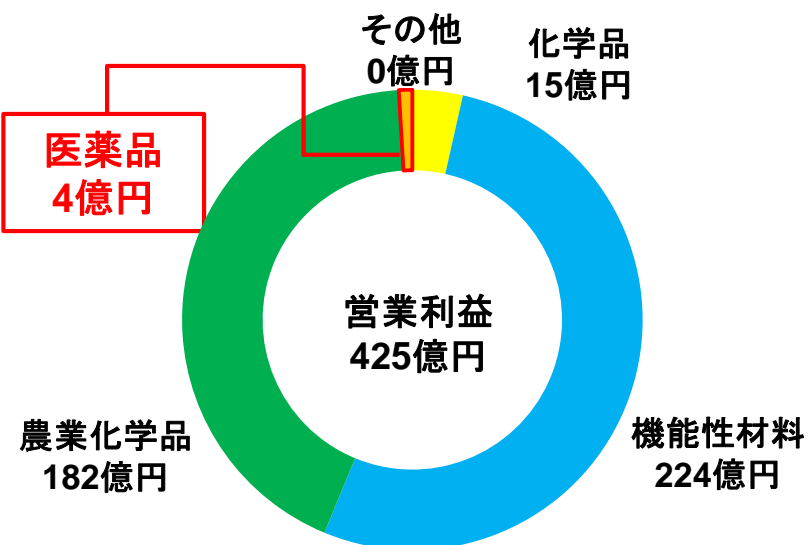
- ◆ 増収:ダイセン(国内・輸出)、グレーシア(国内)、クインテック(輸出)、ライメイ(輸出)、ラウンドアップ(ML・AL)、タルガ(輸出)
- ◆ 横ばい:アルテア(国内減収、輸出増収)
- ◆ 減収:フルララネル(ブラベクト在庫調整)、パーミット(国内・輸出)、グレーシア(輸出)
- ◆ 固定費増加12億円(うちダイセン償却費増加2億円)
- ◆ 棚卸評価損+3億円(20年度評価損計上・21年度計上なし、プラス要因)
- ◆ 売上高+24億円、営業利益-6億円

医薬品セグメント概況 – (A) 業績

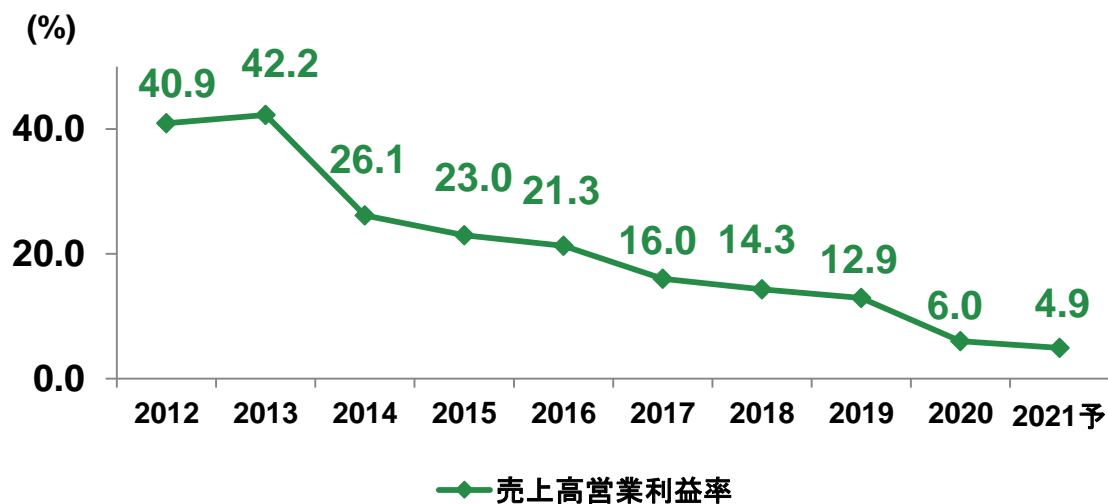
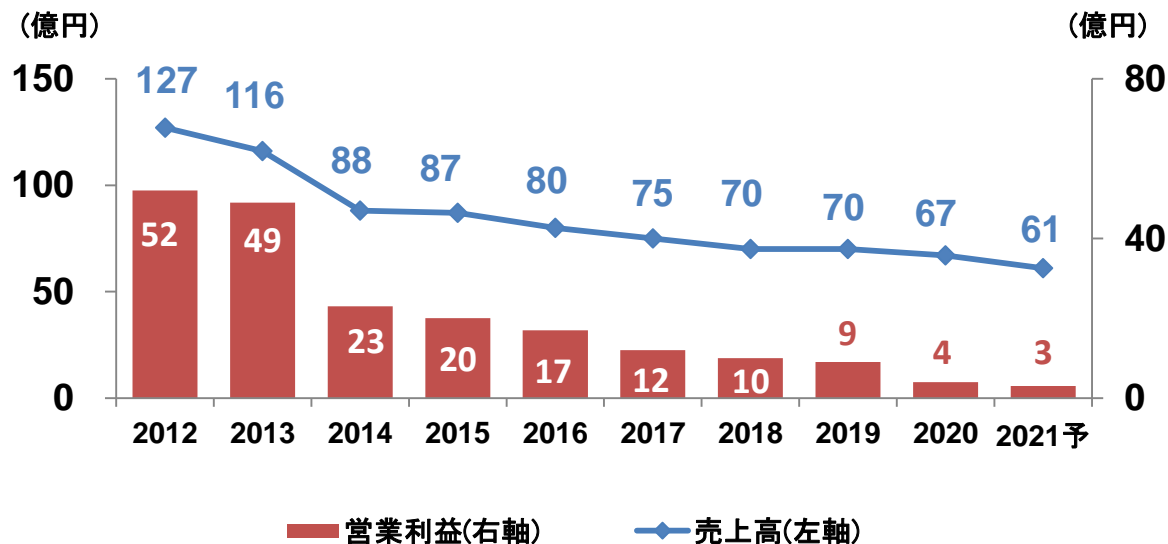
1. 2020年度 売上高構成



2. 2020年度 営業利益構成

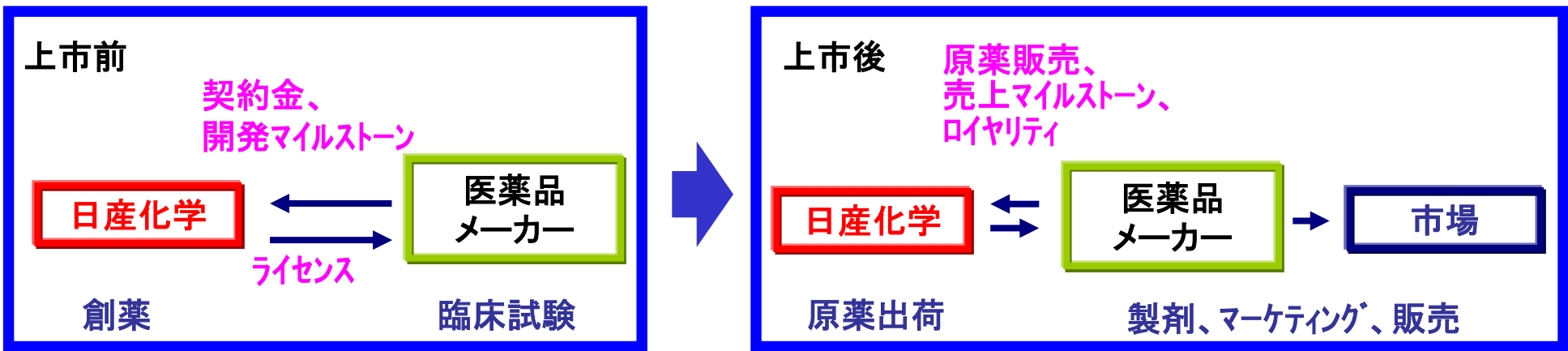


3. 医薬品業績推移



医薬品セグメント概況 – (B) 新薬ビジネスモデルとリバロ

◆ 創薬、開発に特化し、販売部門を有さないユニークな医家向け医薬ビジネスモデル



◆ リバロ原薬(高コレステロール血症治療薬)

売上高	2013 実績	2014 実績	2015 実績	2016 実績	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 予想
国内末端 (薬価ベース、億円)	526	345	297	239	210	167	143	120	-
当社原薬 (国内外合計、億円)	102	69	58	52	48	43	40	28	20
当社原薬 前年同期比成長率	-2%	-32%	-15%	-11%	-7%	-11%	-7%	-30%	-27%
(うち国内)	(-2%)	(-46%)	(-27%)	(-42%)	(-73%)	(-53%)	(+105%)	(+6%)	(-13%)
(うち海外)	(-1%)	(+21%)	(+5%)	(+26%)	(+29%)	(-6%)	(-14%)	(-35%)	(-30%)

- 2013年8月 国内物質特許満了
- 2020年8月 欧州で市場独占期間満了
- 現在28か国で販売中

医薬品セグメント概況 – (C) パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NTC-801	・アセチルコリン感受性カリウムチャネル(IKACH)阻害	・不整脈 (心房細動など)	・帝人ファーマ、ブリストルマイヤーズ・スクイブとの ライセンス契約終了(2015/9) ・新たな導出先検討中 ・AMED*革新的医療シーズ実用化研究事業に採択(2018/9) ・大阪大学と医師主導治験を実施中

*国立研究開発法人日本医療研究開発機構

<創薬研究方針>

戦略的に構築した化合物ライブラリ、精密有機合成力、独自の核酸構造、最先端の評価技術を駆使して、革新的な医薬品を創り出す

◆ 自社創薬研究

・イオンチャネル評価力を基軸に循環器疾患領域と神経疾患領域に集中

◆ 戦略的共同研究

・低分子創薬および核酸創薬について、製薬企業およびバイオベンチャー数社と共同研究を実施中

医薬品セグメント概況 – (D) ファインテック

- ◆ 医薬品技術開発型受託事業で、前臨床から商業生産まで、新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託
- ◆ 加えて高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心として、新規案件獲得に注力
 - 2016年～マキサカルシトール(角化治療薬、二次性副甲状腺機能亢進症)
 - 2017年～エルデカルシトール(骨粗しょう症治療薬)

◆ ファインテック売上高推移

(億円)

	2013 実績	2014 実績	2015 実績	2016 実績	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 予想
売上高	12	18	23	24	25	26	29	38	39

前年同期比 連結売上高成長率								
2020予想 (2020/11発表)			2020実績			2021予想		
上	下	計	上	下	計	上	下	計
+12%	+46%	+30%	+12%	+45%	+30%	+28%	-11%	+5%

医薬品セグメント概況 – (E) 今後の医薬品事業戦略(2020/5発表)

1. 創薬

(1) 収益化モデルの改革

◆研究初期から全ての研究開発ステージで技術と化合物の導出を狙う

A. 自社創薬

(現在)臨床試験直前段階ではじめて導出

(今後)臨床試験以前の探索段階で、導出候補先の評価も踏まえ、提携と導出を判断

B. 共同創薬

◆自社の創薬技術(核酸創薬プラットフォームなど)をパートナーに提供し、収益につなげる

◆当社の核酸技術の強み…独自の修飾核酸構造

(2) R&D投入資源の効率化

A. 創薬開発要員を2年で10人削減

B. 研究開発費用を25億円程度で固定

(3) 創薬テーマ数を現状18テーマから10テーマに絞り込み

2. ファインテック(FT)

(1) 当面のリバロ中心の創薬事業減収を、ファインテック事業拡大で支える

(2) マキサカルシトール、エルデカルシトールに続く高活性・高付加価値GE原薬の新規案件獲得、ペプチド受託を狙う

3. 収益イメージ

(億円)

		2019	2020	2020	2021
		実績	予想 (20/11発表)	実績	予想 (21/5発表)
売上高	創薬	40.6	30.0	28.8	21.4
	FT	29.0	37.9	37.7	39.3
	計	69.6	67.9	66.5	60.7
営業利益	創薬	-1.2	-8.5	-9.3	-15.1
	FT	10.5	14.1	12.9	17.9
	計	9.3	5.6	3.6	2.8

(白紙)

医薬品セグメント概況 – (F-1) セグメント収益動向(1)

(億円)

	2019実績					2020下予想 (20/11発表)			2020実績(A)							2021予想(B)					増減 (B) - (A)				
	上	3Q	4Q	下	計	3Q	4Q	下	1Q	2Q	上	3Q	4Q	下	計	1Q	2Q	上	下	計	1Q	2Q	上	下	計
売上高	34.3	15.3	20.0	35.3	69.6	15.5	22.1	37.6	15.0	15.3	30.3	13.9	22.3	36.2	66.5	8.9	20.5	29.4	31.3	60.7	-6.1	+5.2	-0.9	-4.9	-5.8
創薬	21.0	9.3	10.3	19.6	40.6	5.6	9.1	14.7	7.4	7.9	15.3	5.8	7.7	13.5	28.8	4.9	5.4	10.3	11.1	21.4	-2.5	-2.5	-5.0	-2.4	-7.4
FT	13.3	6.0	9.7	15.7	29.0	9.9	13.0	22.9	7.6	7.4	15.0	8.1	14.6	22.7	37.7	4.0	15.1	19.1	20.2	39.3	-3.6	+7.7	+4.1	-2.5	+1.6
営業利益	5.3	0.2	3.8	4.0	9.3	0.6	4.7	5.3	-0.7	1.0	0.3	-0.4	3.7	3.3	3.6	-3.3	5.2	1.9	0.9	2.8	-2.6	+4.2	+1.6	-2.4	-0.8
創薬	0.5	-1.7	0.0	-1.7	-1.2	-3.5	-1.4	-4.9	-2.2	-1.4	-3.6	-3.6	-2.1	-5.7	-9.3	-4.0	-3.1	-7.1	-8.0	-15.1	-1.8	-1.7	-3.5	-2.3	-5.8
FT	4.8	1.9	3.8	5.7	10.5	4.1	6.1	10.2	1.5	2.4	3.9	3.2	5.8	9.0	12.9	0.7	8.3	9.0	8.9	17.9	-0.8	+5.9	+5.1	-0.1	+5.0

(1) p17,18,19,20,77,78では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

2020 4Q実績

<前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
◆ 売上高-2.6億円、営業利益-2.1億円
- (FT) ◆ 増収(GE品堅調)
◆ 棚卸評価損-1億円(原料価格低下)(マイナス要因)
◆ 売上高+4.9億円、営業利益+2.0億円
- (合計) ◆ 売上高+2.3億円、営業利益-0.1億円

2020 4Q実績

<2020/11業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高下ぶれ(国内上ぶれ、輸出下ぶれ)
◆ 固定費上ぶれ1億円(マイナス要因)
◆ 在庫変動影響+1億円(プラス要因)
◆ 売上高-1.4億円、営業利益-0.7億円
- (FT) ◆ 売上高上ぶれ(3Qからの後ろ倒し)
◆ 棚卸評価損-1億円(原料価格低下)(マイナス要因)
◆ 在庫変動影響-1億円(マイナス要因)
◆ 売上高+1.6億円、営業利益-0.3億円
- (合計) ◆ 売上高+0.2億円、営業利益-1.0億円

医薬品セグメント概況 – (F-2) セグメント収益動向

2020下実績 <前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)
◆ 固定費減少1億円
◆ 売上高-6.1億円、営業利益-4.0億円
- (FT) ◆ 増収(GE品堅調)
◆ 固定費増加1億円
◆ 棚卸評価損-1億円(原料価格低下)(マイナス要因)
◆ 売上高+7.0億円、営業利益+3.3億円
- (合計) ◆ 売上高+0.9億円、営業利益-0.7億円

2020下実績 <2020/11業績予想比>

- (創薬) ◆ リバロ売上高下ぶれ(国内上ぶれ、輸出下ぶれ)
◆ 売上高-1.2億円、営業利益-0.8億円
- (FT) ◆ 売上高下ぶれ(出荷調整)
◆ 棚卸評価損-1億円(原料価格低下)(マイナス要因)
◆ 売上高-0.2億円、営業利益-1.2億円
- (合計) ◆ 売上高-1.4億円、営業利益-2.0億円

2020実績 <前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内増収、輸出減収)
◆ 固定費減少3億円
◆ 売上高-11.8億円、営業利益-8.1億円
- (FT) ◆ 増収(GE品堅調)
◆ 固定費増加1億円
◆ 棚卸評価損-2億円(原料価格低下)(マイナス要因)
◆ 在庫変動影響-2億円(マイナス要因)
◆ 売上高+8.7億円、営業利益+2.4億円
- (合計) ◆ 売上高-3.1億円、営業利益-5.7億円

2021予想 <前年同期比>

- (創薬) ◆ リバロ減収(国内減収、輸出減収)
◆ 固定費増加1億円
◆ 売上高-7.4億円、営業利益-5.8億円
- (FT) ◆ 増収(出荷量増加)
◆ 棚卸評価損+2億円
(20年度評価損計上・21年度計上なし、プラス要因)
◆ 固定費減少1億円
◆ 在庫変動影響+1億円(プラス要因)
◆ 売上高+1.6億円、営業利益+5.0億円
- (合計) ◆ 売上高-5.8億円、営業利益-0.8億円

セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

	設備投資 (1)						減価償却 (2)						研究開発費用						売上高比率(4)					
	2016	2017	2018	2019	2020	2021E	2016	2017	2018	2019	2020	2021E	2016	2017	2018	2019	2020	2021E						
化学	20	26	20	31	49	44	16	17	18	19	22	29	5	6	6	4	3	3	0.9%					
機能性	84	72	33	33	32	56	48	59	60	52	45	41	79	81	82	77	70	73	9.6%					
農業化学 (3)	24	26	33	79	64	18	13	14	17	23	26	28	38	43	45	46	44	45	6.8%					
医薬	9	7	5	6	5	7	7	7	6	6	5	6	22	25	25	25	24	24	39.3%					
卸売	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	-					
その他	6	6	7	7	7	8	4	7	7	4	5	4	17	17	20	20	24	23	-					
合計	143	137	99	157	158	134	89	105	109	105	104	109	161	172	178	172	165	168						
													(売上高研究開発費比率(4))						8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	9.8%

(1) 設備投資額
実績 - 検収ベース
予想 - 稼働開始ベース

(2) 減価償却法
サンエパー、ARC®、多層材料 - 4年定率(初年度50%を償却)
その他製品 - 8年定率(初年度25%を償却)

研究所総合職人員(20/9) -①	460
総合職人員(20/9) -②	1,190
①/②	39%

※単体ベース(海外駐在員含む)
※概数

(3) 2019年クインタック買収(63億円)、2020年ダイセン買収(54億円)を含む

(4) 2021予想: 会計方針の変更による売上高減少446億円影響有り(p2、14参照)

主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2018実績		2019実績		2020見込		2021予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
物質研(機器)	7	シアヌル酸(1)増強	19	情報システム関連	15	農薬(製造設備)	30
材料研(機器)	7	物質研(機器)	7	材料研(機器)	14	DP(製造設備)	14
農薬(開発新棟)	6	材料研(機器)	6	農薬(製造設備)	9	情報システム関連	13
NSU R&Dセンター	5	DP(製造設備)	5	半導体分析機器	8	物質研(機器)	8
テピック増強	5	生物科学研(機器)	3	物質研(機器)	7	材料研(機器)	6
生物科学研(機器)	4	テピック(製造設備)	2	NCK 半導体増強	4	半導体製造試験	3
半導体製造試験	2	(1) ファインケミカル(p32参照)		生物科学研(機器)	2	生物科学研(機器)	3
スノーテックス増強	2						

ESGへの取り組み

◆ ESGインデックス等

- 2017年～
2020年6月 健康経営優良法人ホワイト500に5年連続認定
S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄に2年連続で選定
FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に選定
- 2020年8月 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 提言への賛同を表明
- 2020年10月 「統合レポート2020」を発行 (https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/archive/ar/ar2020.pdf)
- 2020年11月 Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index の構成銘柄に3年連続で選定
- 2020年12月 CDP 水セキュリティにおいて「Aリスト」に2年連続選定
- 2021年1月 温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定

中期経営計画Vista2021(2016-2021年度)目標:

2021年度までに、2011年度比 20%削減 → 2019年度の段階で、2011年度比 27%削減を達成済

新長期目標:2030年度までに、2018年度比 30%削減

温室効果ガス(GHG)排出量(CO2換算、千トン)

年度	2011	2018	2019	2021	2030
中期経営計画Vista2021	-	-	-	359	-
実績	448	363	327	-	-
新長期目標	-	-	-	-	254
大手総合化学5社平均	-	-	5,069	-	-

2021年4月 ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定

◆ ガバナンス

- 2019年4月 指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月 取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
- 2021年6月(予定) 女性取締役1名選任予定(選任後、取締役は計10名、うち社外4名)

◆ 東京証券取引所「企業価値向上表彰」表彰候補50社に選定

- 2020年1月 2019年度「企業価値向上表彰」の表彰候補として、上場企業約3,600社中50社に2年連続選定(2020年度東証は表彰見送り)

◆ ディスクロージャー優良企業を受賞

- 2020年10月 証券アナリスト協会「ディスクロージャー優良企業選定」にて化学・繊維部門の第1位に初選定

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)(2019年5月発表)– (A)

1. PL⁽¹⁾

	2018	2021	2021	2021	(億円)
	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/5発表)	
売上高	2,049	2,500	2,350	1,725	
営業利益	371	400	430	436	
経常利益	391	408	440	449	
当期純利益	294	310	330	341	
EPS(円/株)	197.67	-	230.00	239.18	
配当(円/株)	82	-	-	108	
為替レート(円/ドル)	111	115	110	107	
ナフサ(円/kl)	49,700	51,100	43,000	-	
原油(JCC)(ドル/bbl)	-	-	64	55	

(経営指標)

	2018	2021	2020、2021	2021
	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/5発表)
売上高営業利益率	18.1%	15%以上	18%以上	25.3%
ROE	16.6%	14%以上	16%以上	17.0%
配当性向	41.5%	40%	45%	45.2%

(億円)

2. セグメント⁽¹⁾⁽²⁾

	売上高				営業利益			
	2018	2021	2021	2021	2018	2021	2021	2021
	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/5発表)	実績	旧中計 (2016/5発表)	現中計 (2019/5発表)	予想 (2021/5発表)
化学品	357	405	431	346	30	45	51	24
機能性材料	630	829	751	758	150	184	173	238
農業化学品	627	670	701	662	184	167	211	176
医薬品	70	83	75	61	10	24	7	3
卸売・その他・調整	365	513	392	-102	-3	-20	-12	-5
合計	2,049	2,500	2,350	1,725	371	400	430	436

(1) 2021予想:会計方針の変更による売上高減少446億円。セグメントでは「卸売・その他・調整」に反映(p2, 14参照)

(2) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

中期経営計画 Vista2021 Stage II (2019-2021)(2019年5月発表)– (B)

1. キャッシュフロー

(億円)

	2016-2018 合計	2019-2021 合計(概数)	2019-2021 合計
	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計
営業CF	1,021	1,150	1,162
投資CF	-392	-450	-466
財務CF	-620	-750	-782
(うち株主還元)	-556	-700	-717
(うち借入金返済)	-64	-50	-56

	2019/3 実績	2022/3 現中計	2022/3 予想
期末現預金残高	362	300	276
期末有利子負債残高	246	210	210

2. 設備投資、減価償却費、研究開発費、研究開発要員

(億円)

(人数)

	設備投資			減価償却費			研究開発費			研究開発要員	
	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2019-2021 合計	2016-2018 合計	2019-2021 合計	2019-2021 合計	2020	2021
	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計	実績	現中計	19実、20実、 21予想 合計	実績	現中計
化学品	66	147	124	52	94	70	16	14	10	5	10
機能性材料	189	178	121	167	170	138	243	267	220	190	210
農業化学品	83	82	161	44	55	77	126	148	135	90	95
医薬品	21	17	18	21	18	17	72	71	73	75	90
卸売・その他・調整	20	23	25	19	31	16	54	80	67	100	75
合計	379	447	449	303	368	318	511	580	505	460	480

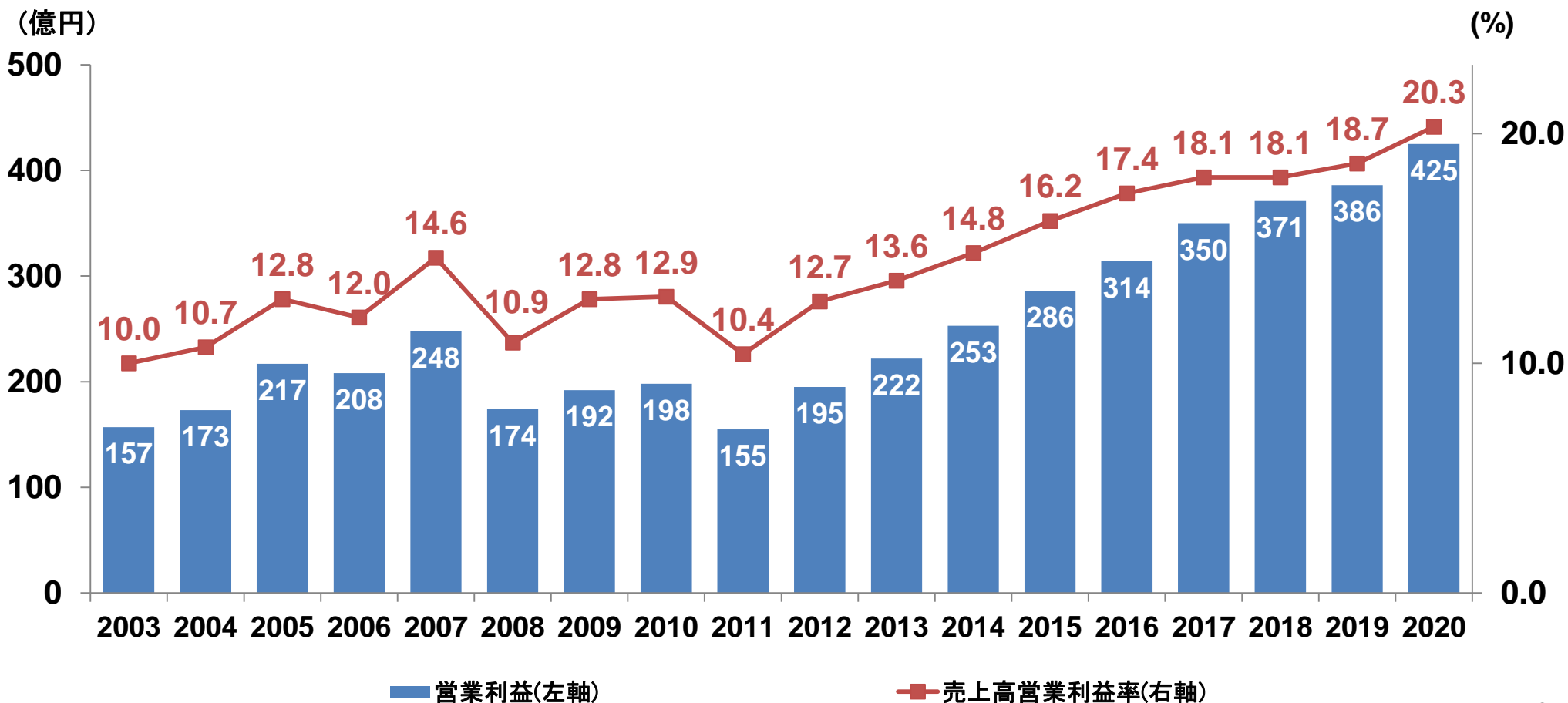
2021中計と2021予想の差異

(億円)

		2021中計(A)	2021予想(B)	(B) - (A)	
化学品	売上高	431	346	-85	ファイン合計下ぶれ (下ぶれ) テピック一般・電材、環境化学品、ファインオキソ(化粧品向け)
					基礎合計下ぶれ (上ぶれ) 尿素・アドブルー (下ぶれ) メラミン国内・輸出、高純度硫酸、硝酸製品
	営業利益	51	24	-27	売上高下ぶれ、原燃料コスト下ぶれ、固定費下ぶれ ファイン下ぶれ、基礎下ぶれ
機能性材料	売上高	751	758	+7	ディスプレイ合計上ぶれ (上ぶれ) 光IPS (下ぶれ) ラビングIPS、VA、TN、その他ディスプレイ材料
					半導体合計上ぶれ (上ぶれ) KrF、ArF、多層材料、EUV材料 (下ぶれ) 三次元実装材料、CMOSイメージセンサー材料
					無機合計下ぶれ (上ぶれ) スノーテックス一般 (下ぶれ) スノーテックス研磨、オルガノゾル・モノマーゾル、オイル&ガス材料
	営業利益	173	238	+65	売上高上ぶれ、固定費(ディスプレイ、半導体、無機)下ぶれ ディスプレイ上ぶれ、半導体上ぶれ、無機下ぶれ
農業化学品	売上高	701	662	-39	(上ぶれ) ダイセン、クインテック、アルテア (下ぶれ) フルララネル、タルガ、ラウンドアップ(ML計画通り、AL下ぶれ)、パーミット、 グレーシア、ライメイ
	営業利益	211	176		-35
医薬品	売上高	75	61	-14	創薬合計下ぶれ (上ぶれ) リバロ国内 (下ぶれ) リバロ輸出、一時金
					FT合計下ぶれ (下ぶれ) ジェネリック原薬、ペプチド受託生産
	営業利益	7	3	-4	売上高下ぶれ、固定費下ぶれ 創薬上ぶれ、FT下ぶれ
卸売・その他・調整	売上高	392	-102	-494	卸売下ぶれ-65、その他国内子会社下ぶれ-15、 調整額計算-414(会計方針の変更による売上高減少-446を含む(p2, 14参照))
	営業利益	-12	-5		+7
合計	売上高	2,350	1,725	-625	
	営業利益	430	436	+6	

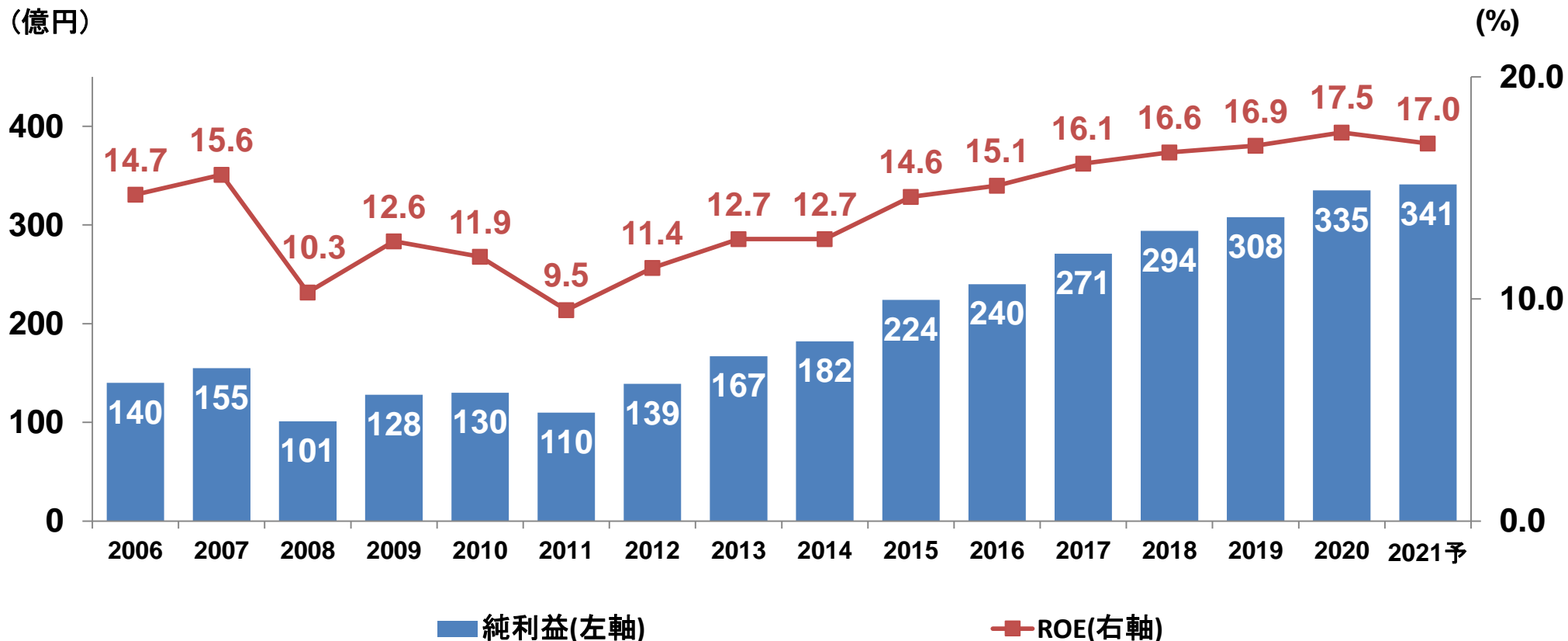
当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降18年連続10%以上)



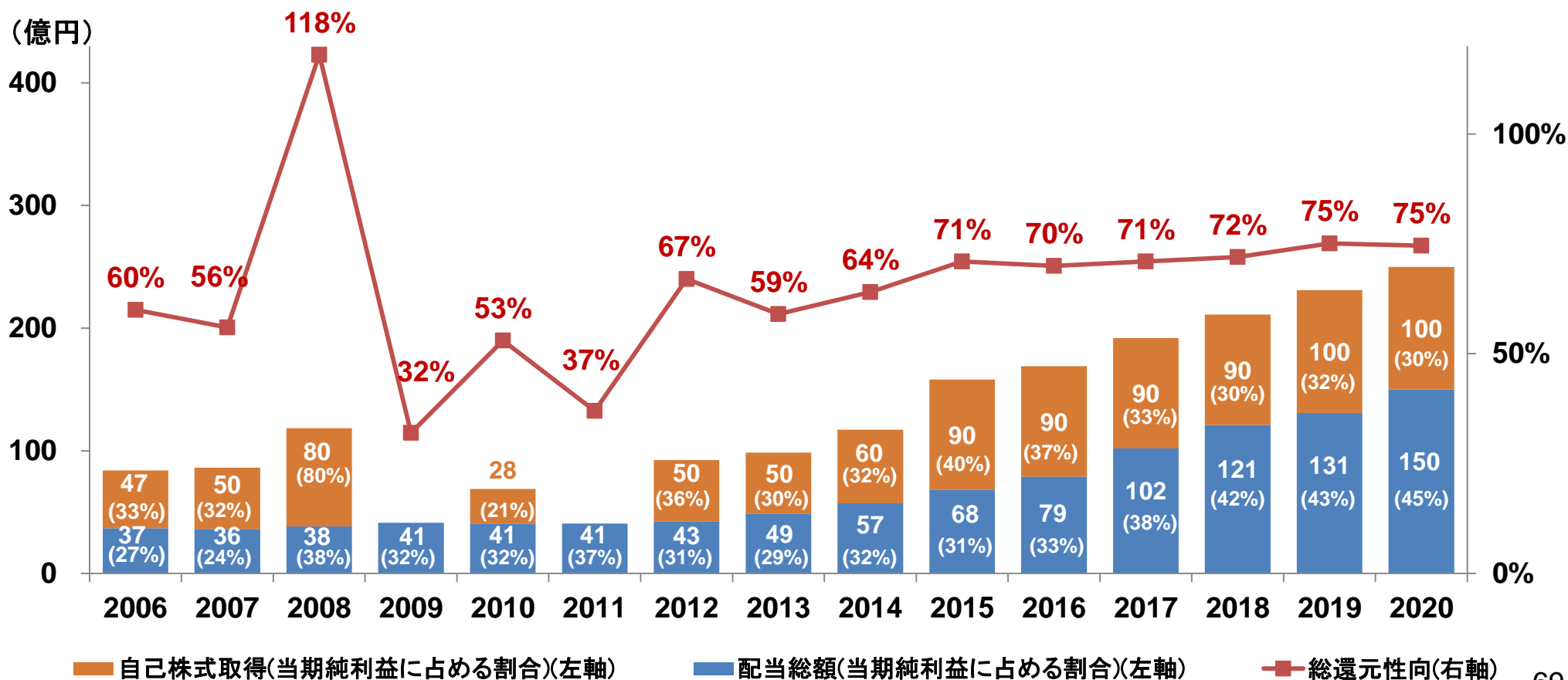
当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持が目標
- ◆ 2020年度実績は17.5%



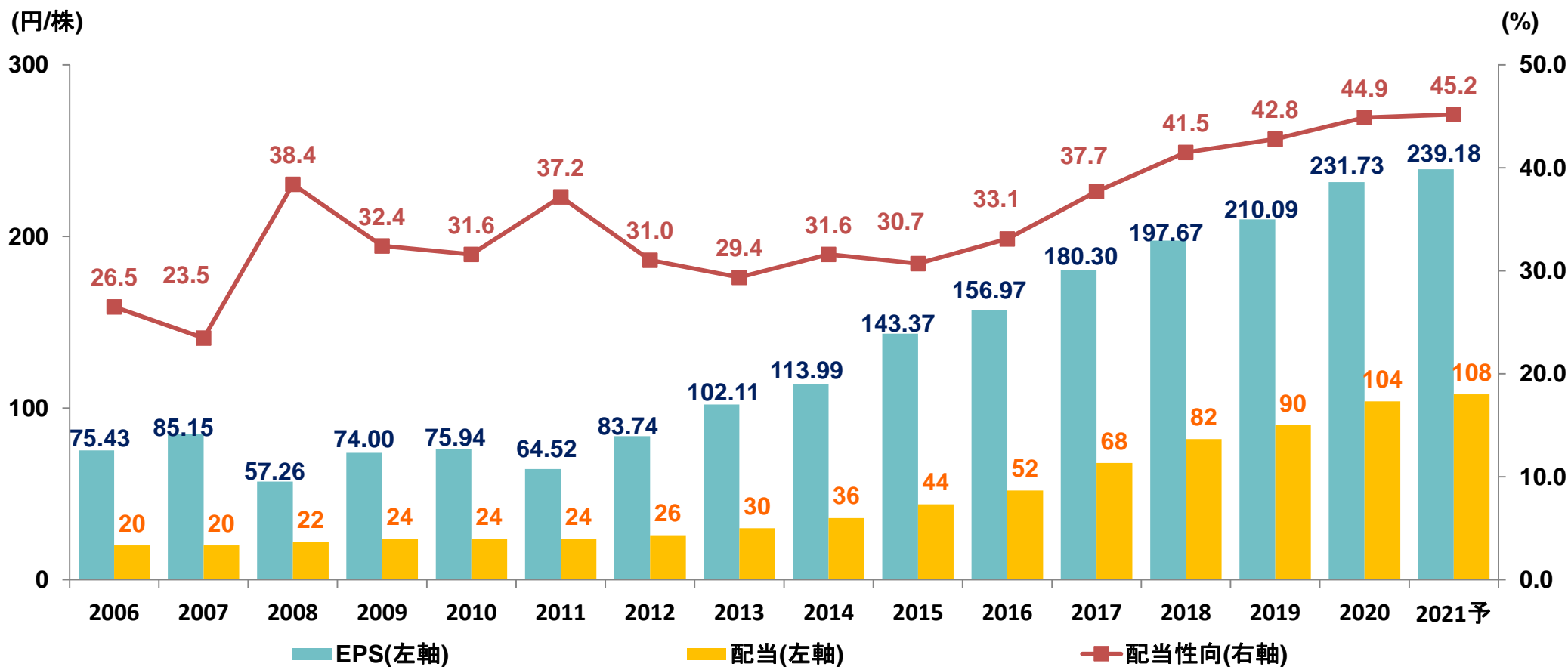
当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元を実施
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016-2018年度達成
- ◆ 中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標
- ◆ 2020年度実績は74.6%



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 2015年度30.7%から段階的に引き上げ
- ◆ 中計(2019-2021年度)では2019年度42.5%、2020年度以降45%が目標
- ◆ 2020年度実績は44.9%
- ◆ 2012年度以降2020年度まで9年連続増配



当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始、2006-20年度取得総額925億円、4,271万株(取得開始前発行済株式の22.8%)
- ◆ 2006-20年度取得株はすべて消却済

2006-2020年度 自己株式取得実績

- (1) 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を除く
 (2) 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得(166千株)を含む

年度	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
取得数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	2,167	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	1,829	42,715
取得価額(億円)(1)	47	50	80	28	50	50	60	90	90	90	90	100	100	925
自己株式消却数(千株)	3,000	3,635	7,000	3,000	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	1,000	42,635
発行済株式数(百万株)	185	181	174	171	165	161	158	156	154	151	149	146	145	-
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	885	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	1,352	-
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	53	67	59	64	71	70	71	72	75	75	-

*2009年度、2011年度は自己株式取得なし

◆ 取得

年度	2018			2019			2020			2021
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	5月発表計画
自己株式取得総数(千株)(1)	976	706	1,682	1,270	868	2,138	1,334	495	1,829	-
取得価額総額(億円)(1)	50	40	90	60	40	100	70	30	100	70
自己株式消却総数(千株)	2,000	0	2,000	2,000	1,000	3,000	1,000	0	1,000	1,000

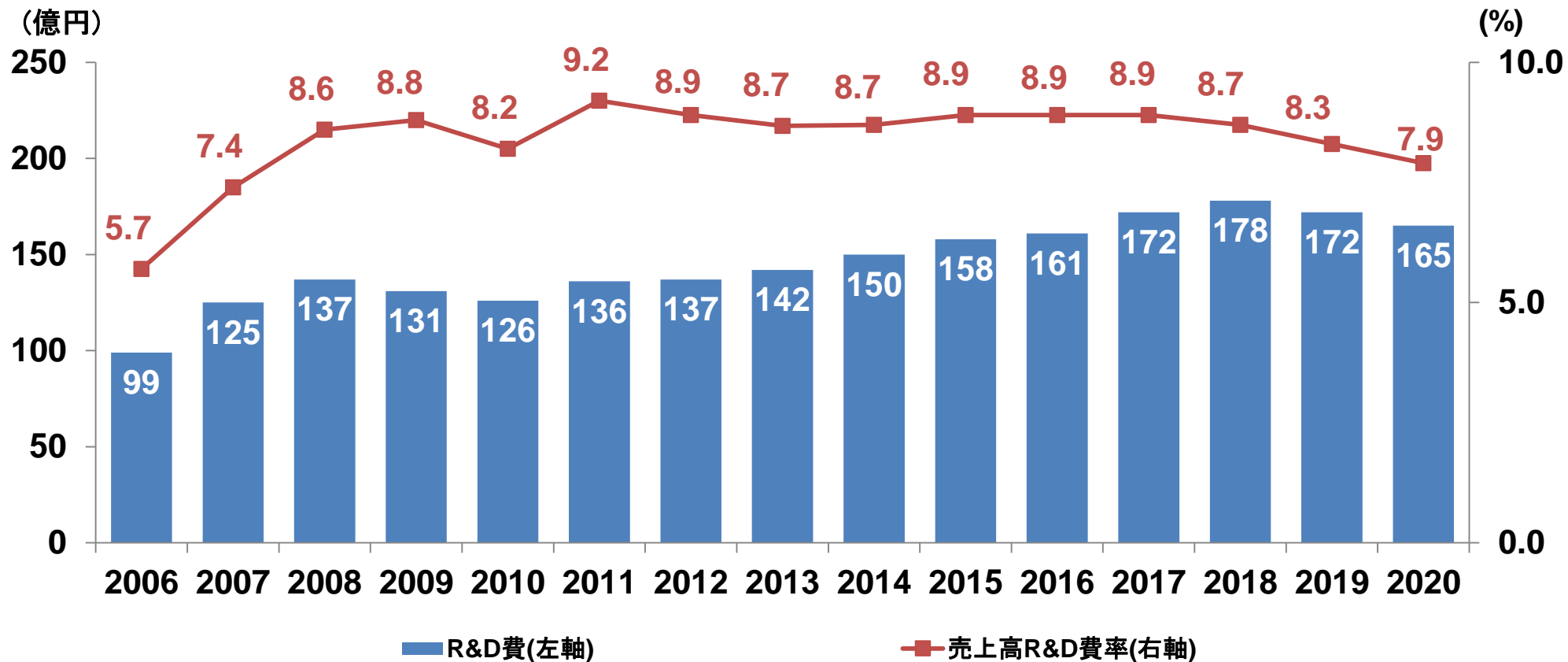
◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準

$$= \text{必要下限額} + \text{流動性リスク対応} [1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})] + \text{偶発リスク対応}$$

当社の特徴- (F-1)研究開発

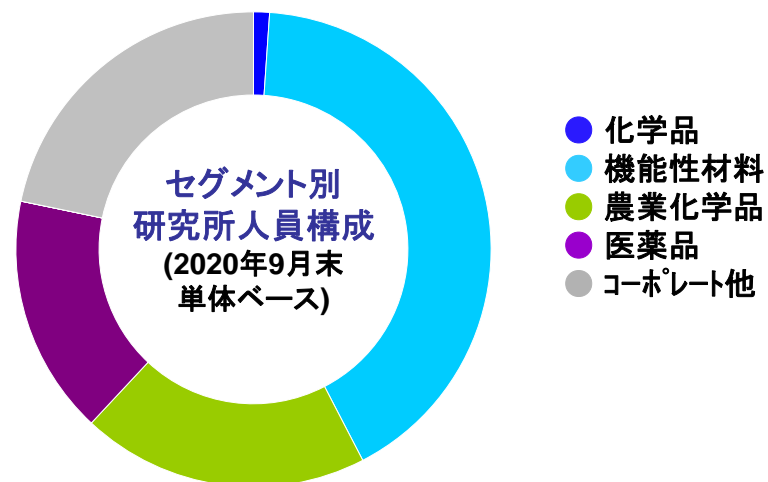
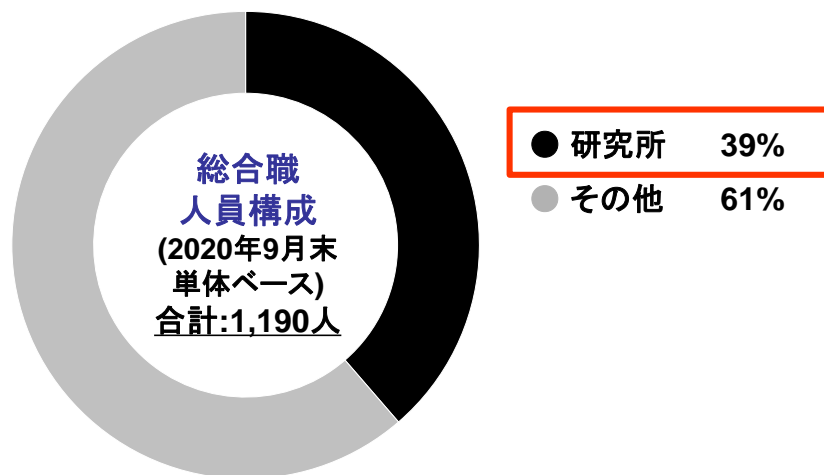
- ◆独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴- (F-2)研究開発

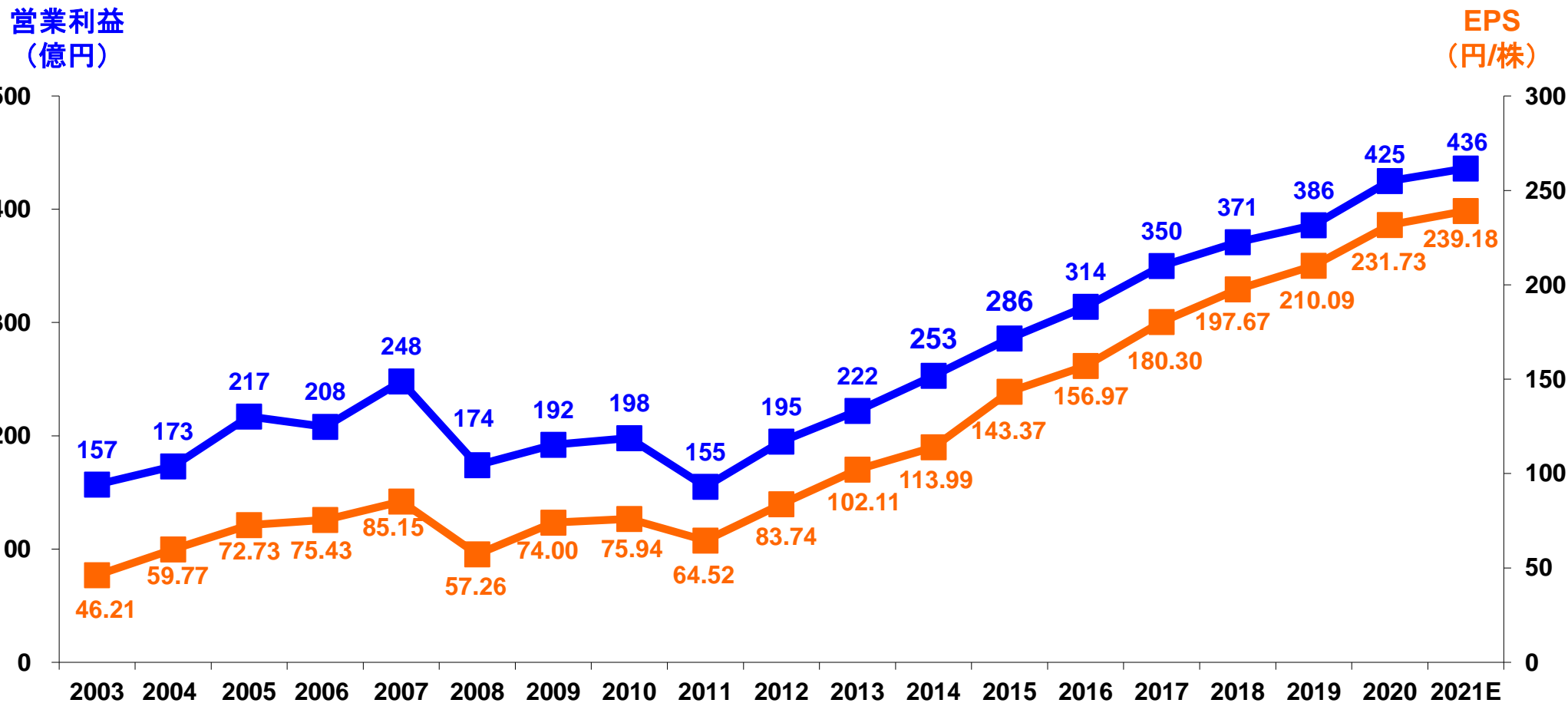
◆セグメント別研究開発費

セグメント	2020年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	319	15	4.7%	3	0.9%
機能性材料	716	224	31.3%	70	9.8%
農業化学品	638	182	28.5%	44	6.9%
医薬品	67	4	6.0%	24	35.8%
コーポレート他	-	-	-	24	-
その他共通合計	2,091	425	20.3%	165	7.9%



(白紙)

長期業績推移



長期業績推移 (1)

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021E
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	1,725
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	436
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	449
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	341
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	403	455	480	492	530	547
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	25.3%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	17.0%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	239.18
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	108
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	45.2%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	70
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	143	137	99	157	158	134
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	109
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	168
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	9.8%

(1) 2021予想:会計方針の変更による売上高減少446億円(p2、14参照)

2017-20 四半期別セグメント別売上高⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2017実績					2018実績					2019実績					2020実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
化学	88	79	92	90	349	87	83	96	91	357	84	84	87	88	343	74	73	83	89	319
ファイン	28	25	28	25	106	27	24	26	27	104	26	26	26	27	105	27	27	28	32	114
基礎	60	54	64	65	243	60	59	70	64	253	58	58	61	61	238	47	46	55	57	205
機能	141	150	151	146	588	156	164	166	144	630	151	163	170	171	655	171	175	192	178	716
農化	146	115	64	256	581	164	123	59	281	627	147	132	55	306	640	146	111	63	318	638
医薬	21	14	23	17	75	18	19	19	14	70	19	15	16	20	70	15	15	14	23	67
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	7	9	10	41	7	8	6	8	29
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	6	10	29	8	7	8	15	38
卸売	146	145	159	145	595	178	156	181	164	679	175	158	175	171	679	182	155	178	183	698
他	54	43	46	72	215	46	59	72	69	246	49	49	51	75	224	48	46	68	76	238
調整	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-133	-560	-138	-123	-139	-143	-543	-143	-123	-161	-158	-585
合計	474	436	417	607	1,934	509	471	439	630	2,049	487	478	415	688	2,068	493	452	437	709	2,091

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2020年度より、ファインオキシコール(FO、化粧品原料)を基礎化学品からファインケミカルへ移管している

2017-20 四半期別セグメント別営業利益⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾

(億円)

	2017実績 (旧方式)					2018実績 (旧方式)					2019実績 (新方式)					2020実績 (新方式)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
化学	15	-2	12	9	34	16	-4	10	8	30	9	-6	5	5	13	7	-8	7	9	15
機能	36	41	40	25	142	39	42	43	26	150	40	44	47	39	170	53	54	63	54	224
農化	45	36	-6	89	164	51	47	-13	99	184	45	49	-18	117	193	40	38	-13	117	182
医薬	5	0	6	1	12	3	3	4	0	10	4	1	1	3	9	-1	1	0	4	4
創薬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-2	-2	0	-1	-2	-1	-4	-2	-9
FT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	2	4	11	2	2	3	6	13
卸売	4	5	5	4	18	6	5	6	3	20	5	5	6	5	21	7	5	7	6	25
他	1	1	1	3	6	1	1	2	5	9	1	0	1	5	7	0	0	4	4	8
調整	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-8	-32	-11	-6	-7	-3	-27	-8	-8	-12	-5	-33
合計	100	73	51	126	350	107	87	44	133	371	93	87	35	171	386	98	82	56	189	425

(1) 2019-20 : 新方式セグメント別営業利益(p18参照)

(2) 医薬品セグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

(3) 2019年3Q・4Q調整欄:クインテック償却費修正(p8参照)

セグメント別売上高、営業利益推移 (1)(2)(3)(4)

<売上高 (A)>

(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021E
化学	381	369	345	355	343	343	348	349	357	343	319	346
機能	380	340	374	428	494	518	528	588	630	655	716	758
農化	344	338	354	391	457	475	520	581	627	640	638	662
医薬	96	100	127	116	88	87	80	75	70	70	67	61
卸売	441	448	466	507	544	556	552	595	679	679	698	701
他	270	200	212	214	209	209	240	215	246	224	238	234
調整	-370	-309	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-1,037
合計	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	1,725

<営業利益 (B)>

化学	24	16	19	19	19	39	38	34	30	13	15	24
機能	79	48	72	88	120	120	125	142	150	170	224	238
農化	48	44	50	62	92	108	132	164	184	193	182	176
医薬	44	46	52	49	23	20	17	12	10	9	4	3
卸売	14	13	14	15	17	18	17	18	20	21	25	22
他	10	3	7	8	6	5	10	6	9	7	8	7
調整	-21	-15	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-34
合計	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	436

<営業利益率 (C)=(B)/(A)>

化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	6.9%
機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	31.4%
農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	26.6%
医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	4.9%
卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.1%
他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	3.0%
合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	25.3%

<セグメント資産 (D)>

2020
308
510
828
96
262
128
523
2,655

<ROA (E)=(B)/(D)>

4.9%
43.9%
22.0%
4.2%
9.5%
6.3%
16.0%

(1) 2010-11 : 旧セグメント, 2012- : 新セグメント

(2) 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(3) 2019-21 予想 : 新方式セグメント別営業利益(p18参照)

(4) 2021 予想 : 会計方針の変更による売上高減少446億円(p2, 14参照)

主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アドフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌル酸： フール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アドフルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエハー ARC®（KrF、ArF） OptiStack®（多層材料） NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド スノーテックス</p> <p>オルガノゾル・モノマーゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス オイル&ガス材料</p>	<p>液晶配向材用ホリミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料（Si-HM、SOC） *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： 研磨材（シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等）、 特殊鋼板</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止 シェールオイル・ガス採掘効率向上材</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルガ パーミット シリウス ラウトアップ アルテア</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト グレーシア</p> <p>◆殺菌剤 ハルサー、イカルガ、グレートム （チフルサミド） ライメイ クインテック（キノキシフェン） ダイセン（マンセブ）</p> <p>◆動物薬 フルアラネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜 野菜、茶</p> <p>芝、稲、ばれいしょ</p> <p>野菜 果樹、野菜 果樹、野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワコモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	リハロ原薬 ファインテック	高コレステロール血症治療薬 医薬品技術開発型受託事業
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



Nissan Chemical
CORPORATION